



建築設備CAD

FILDER *Ceed*

複層階マニュアル

ダイキン工業株式会社

第10版 2024年12月 3日

ダイキン工業株式会社
電子システム事業部



【 複層階マニュアル 】

平素より、建築設備CAD『FOLDER CeeD』ならびに弊社空調製品をご愛顧いただきまして、誠に有難うございます。

本書では、FOLDER CeeD で複層階をお使いいただけるように作成しております。

また、FOLDER CeeD (バージョン 3.1 以降) は Windows11 に対応していますが、本書の画面イメージや操作説明は、Windows10 のものを使用しています。

ご 注 意

- ・ 本製品または本書は、本製品の使用許諾契約書に基づいて使用することができます。
- ・ 本書の全部または一部を、ダイキン工業株式会社の書面による許可を得ることなく複写、複製、転用することはできません。
- ・ 本書の記載内容は、バージョンアップ等の理由により予告なく変更することがあります。
- ・ 本書の出版にあたっては正確な記述に努めましたが、本書の内容に対してなんらかの保証をするものではなく、内容やサンプルに基づいた運用結果に関しても一切の責任を負いかねます。
- ・ 本書の記載内容は、お客様固有の問題に対して必ずしも同じ状況が再現されているとは限りません。結果についてはいかなる保証も責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- ・ その他、マニュアルに記載されている会社名、製品名は、一般に各社、個人の登録商標または商標です。

目次

I. 複層階の建築	1
I - 1. 建築図を作図する場合	1
1. 躯体図面の読入	1
2. 階の作成	4
3. 1階建築躯体図のトレース	6
4. 2階の作成（1階の建築躯体を複写）	19
5. 3階の作成（3階の建築躯体図を取り込んでトレース）	21
I - 2. I F Cの建築図を元に作図する場合	26
1. IFC 読み込み時の階情報の取込み	29
II. 複層階の設備	30
II - 1. 設備を作図する	30
1. 衛生設備を作図する	30
2. シャフトを作図する	34
II - 2. 2階の設備を作成（1階の設備を複写）	39
II - 3. 傍記を配置する	46
III. 便利な機能	49
III - 1. シート間の図形の移動	49
III - 2. 表示状態の登録	54
1. 表示状態の登録	54
2. 登録した表示状態の呼出	56
3. 登録した表示状態の変更	57
III - 3. シートのグループ化	58
1. シートをグループ化する	58
2. グループシートの設定変更	60

I. 複層階の建築

FILDER CeeD では、シートに階情報を設定して作図することができます。

シートに階情報が設定されている場合、階の高さを気にすることなく、そのシートに設定されている FL 高さを基準として、建築、設備を作図・編集することができます。

I-1. 建築図を作図する場合

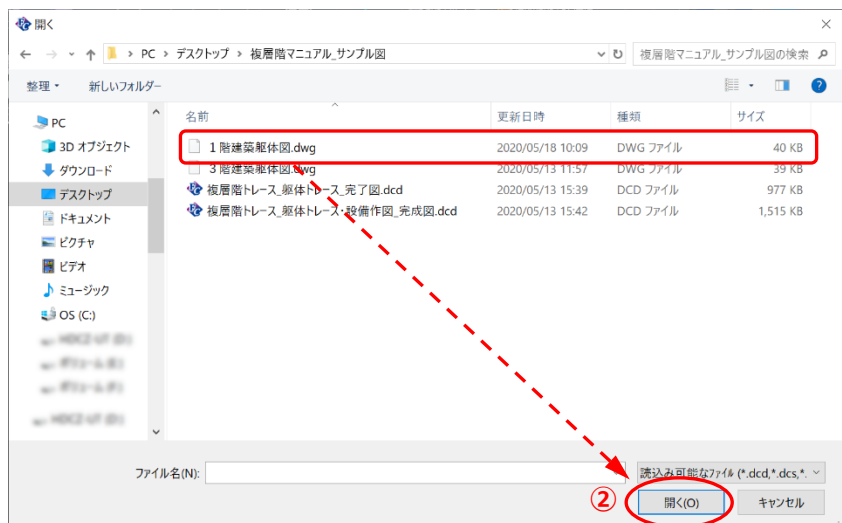
1. 躯体図面の読込

操作説明

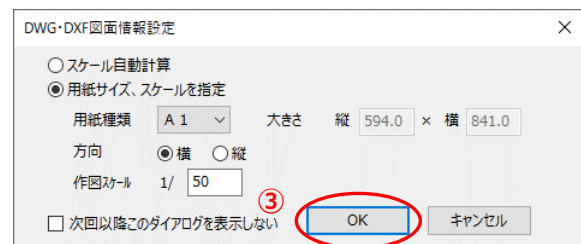
- ① リボンメニューの「ホーム」タブから「開く」を選択します。
(「ファイル」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります)



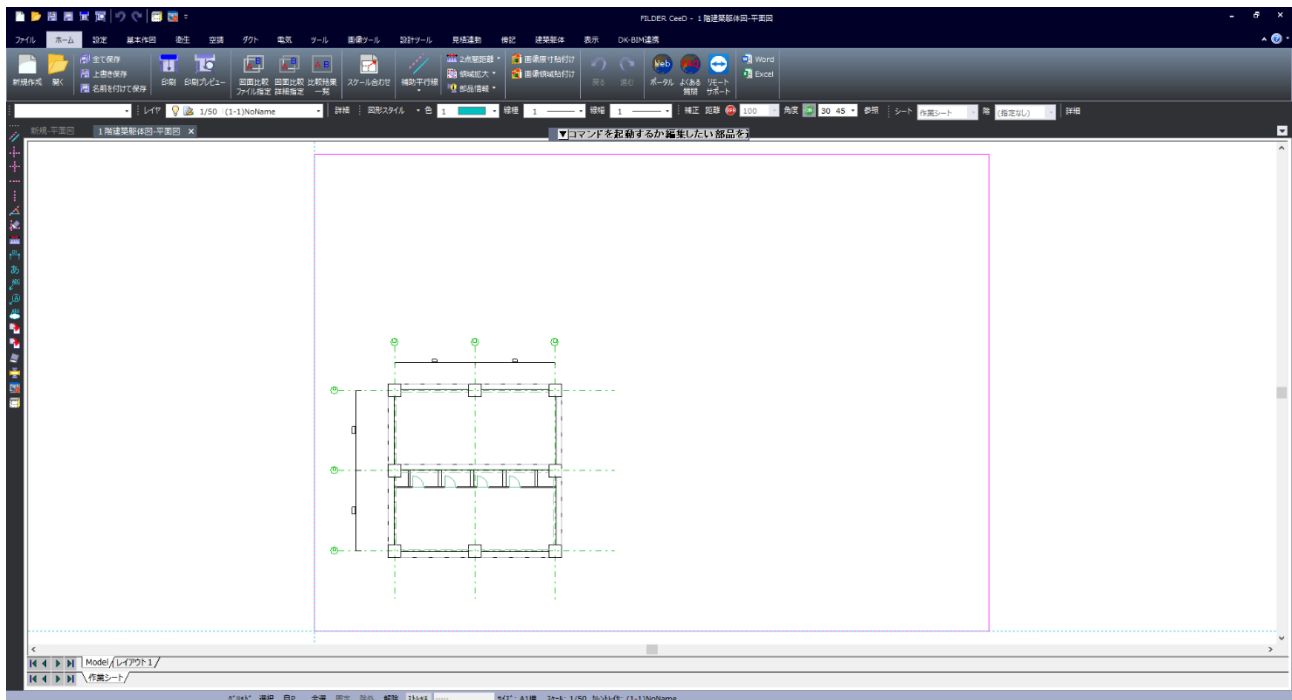
- ② 「開く」ダイアログが表示されますので、トレースする建築躯体図面を選択し、「開く」ボタンをクリックします。
ここでは、「1 階建築躯体図.dwg」ファイルを開きます。



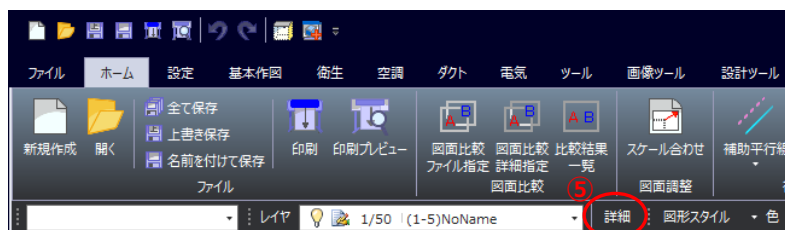
- ③ 「DWG・DXF 図面情報設定」ダイアログが表示されますので、下記のように設定し、「OK」ボタンをクリックします。



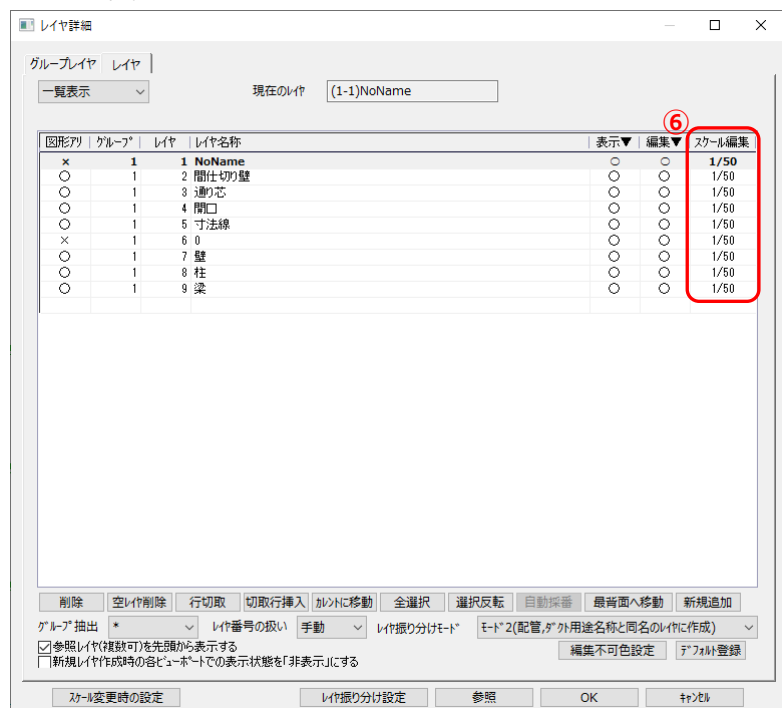
④ 選択した図面が開きます。



⑤ 共通項目ツールバーのレイヤ詳細横の「詳細」ボタンをクリックします。



⑥ 「レイヤ詳細」ダイアログが表示されますので、「スケール編集」欄でカレントレイヤのスケール及び読み込んだ建築躯体図面のレイヤスケールを確認してください。
作図したいスケールと異なる場合、ここでスケールを変更してください。



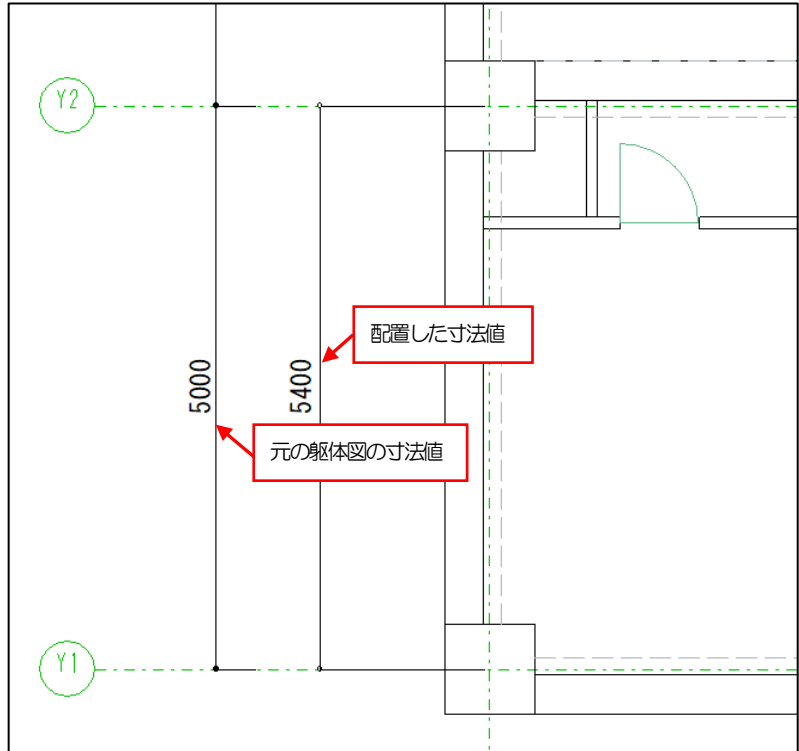
ワンポイント



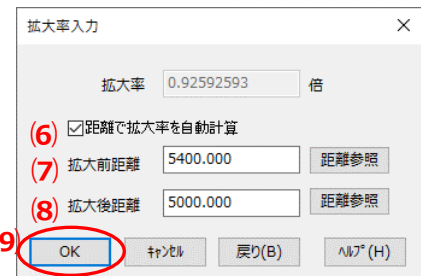
寸法の確認方法

躯体をトレースする前に読込んだ躯体図の寸法を確認します。補正する場合は下記手順となります。

- (1) 寸法線がある個所に実際に寸法線を配置して同じかどうか確認します。
- (2) 元の躯体図の寸法値と配置した寸法線の寸法値が異なる場合、リボンメニューの「ホーム」タブから【スケール合わせ】を選択します。
- (3) スケールを変更する躯体図全体を枠で囲むように選択します。
- (4) **右クリックで「確定」**します。
- (5) **基点**をクリックします。



- (6) 「拡大率入力」ダイアログが表示されますので、「距離で拡大率を自動計算」にチェックを入れます。
- (7) 「拡大前距離」に読込んだ躯体図を測った距離を入力します。
- (8) 「拡大後距離」に元の躯体図の距離を入力します。
- (9) 「OK」ボタンをクリックします。



2. 階の作成

操作説明

- ① リボンメニューの「建築躯体」タブから「階作成・編集」を選択します。



- ② 「階作成・編集」ダイアログが表示されますので、各項目の設定をします。
ここでは、例として地上4階、1FL 高さ「0」、階高「3500」、床厚「30」、床スラブ厚「170」、天井高さ「2500」、天井厚「20」と設定します。

階作成・編集

階を一括で作成 1FL高さ 階高 床厚 床スラブ厚 天井高さ 天井厚

② 地上 4 階 0.00 3500.00 30.00 170.00 2500.00 20.00

地下 0 階

③ 階一括作成

階名称	FL高さ	階高	床厚	床スラブ厚	天井高さ	天井厚

GL高さ 0.00

上階のFLライン

天井厚 天井 天井高さ FLライン 床スラブ 床スラブ厚 床厚 梁 柱 壁 階高 FL高さ GL高さ

OK キャンセル ヘルプ

- ③ 「階一括作成」ボタンをクリックします。

- ④ 1階から4階までの階の設定ができます。

階作成・編集

階名称 FL高さ 階高 床厚 床スラブ厚 天井高さ 天井厚

5F 14000.00 3500.00 30.00 170.00 2500.00 20.00

階を作成するには最上階又は最下階を選択してください。

削除 変更 上階作成

④

階名称	FL高さ	階高	床厚	床スラブ厚	天井高さ	天井厚
4F	10500.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
3F	7000.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
2F	3500.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
1F	0.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00

GL高さ 0.00

上階のFLライン

天井厚 天井 天井高さ FLライン 床スラブ 床スラブ厚 床厚 梁 柱 壁 階高 FL高さ GL高さ

OK キャンセル ヘルプ

- ⑤ 各階の数値を変更する場合は、一覧から変更したい階を選択し、上の各項目欄の数値を変更し、「変更」ボタンをクリックします。
ここでは、例として4階の階高を「3800」と入力し、「変更」ボタンをクリックすると、4階の階高が変更されます。

※一口メモ※
自動で作成されるシートの「シート名」は固定の名称となります。

階作成・編集

階名称	FL高さ	階高	床厚	床スラブ厚	天井高さ	天井厚
4F	10500.00	3800.00	30.00	170.00	2500.00	20.00

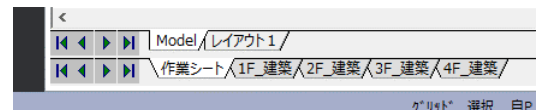
階を作成するには最上階又は最下階を選択してください。

階名称	FL高さ	階高	床厚	床スラブ厚	天井高さ	天井厚
4F	10500.00	3800.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
3F	7000.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
2F	3500.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
1F	0.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00

GL高さ 0.00

⑥ OK キャンセル ヘルプ

- ⑥ 「OK」ボタンをクリックします。
- ⑦ 躯体トレース用に設定した階ごとのシートが自動的に作成されます。



ワンポイント

上階、下階を追加して作成する場合

●上階を追加で作成する場合

既に作成してある階の一番上を選択し、「階名称」・「階高」・「床厚」・「床スラブ」・「天井高さ」・「天井厚」を設定し、「上階作成」ボタンをクリックします。

※ 「FL 高さ」は階高で自動調整されます。

階作成・編集

階名称	FL高さ	階高	床厚	床スラブ厚	天井高さ	天井厚
5F	10500.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00

階を作成するには最上階又は最下階を選択してください。

階名称	FL高さ	階高	床厚	床スラブ厚	天井高さ	天井厚
4F	10500.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
3F	7000.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
2F	3500.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
1F	0.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00

●下階を追加で作成する場合

既に作成してある階の一番下を選択し、「階名称」・「階高」・「床厚」・「床スラブ」・「天井高さ」・「天井厚」を設定し、「下階作成」ボタンをクリックします。

※ 「FL 高さ」は階高で自動調整されます。

階作成・編集

階名称	FL高さ	階高	床厚	床スラブ厚	天井高さ	天井厚
地下1階	0.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00

階を作成するには最上階又は最下階を選択してください。

階名称	FL高さ	階高	床厚	床スラブ厚	天井高さ	天井厚
4F	10500.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
3F	7000.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
2F	3500.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00
1F	0.00	3500.00	30.00	170.00	2500.00	20.00

3. 1階建築躯体図のトレース

ここでは通り芯・柱・壁・梁・開口・床スラブ・天井の作図をします。

※ 1つのシートの中で通り芯を重ねて作図することはできません。

操作説明

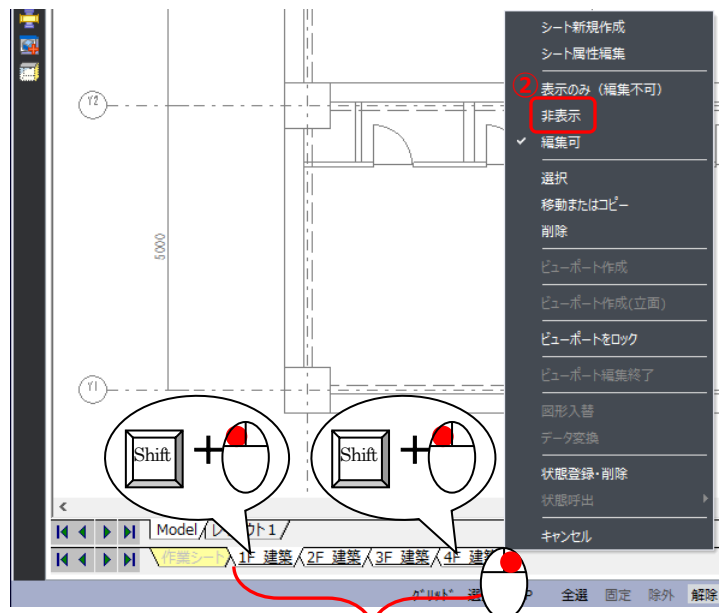
- ① 「作業シート」にある躯体図をトレースしますので、シート内の図形を「表示のみ（編集不可）」にしておきます。
「作業シート」シートを右クリックし、ショートカットメニューから「表示のみ（編集不可）」を選択します。



- ② 「I - 1 2. 階の作成」で作成されたシートを「非表示」に設定します。
「Shift」キーを押しながら「1 F_建築」シートと「4 F_建築」シートをクリックすると、範囲内にあるシート全てが選択された状態になります。
選択したシート上で右クリックし、ショートカットメニューから「非表示」を選択します。

※一口メモ※

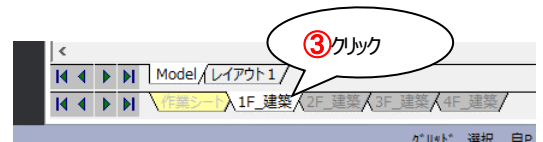
シート上で右クリックし、ショートカットメニューを表示させる際、シートを左クリックしますと選択が解除されますのでご注意ください。



「Shift」キーを押しながら選択で、選択した範囲内を全て選択します。

- ③ 「1 F_建築」シートをクリックします。

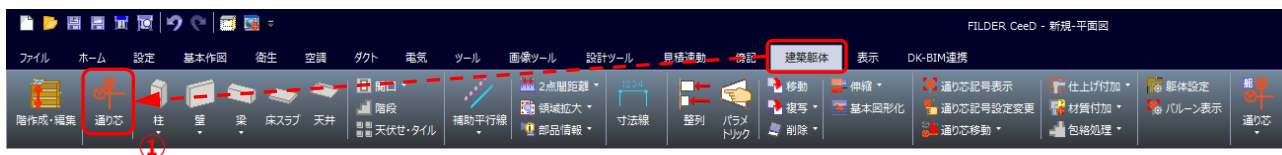
※ シートをクリックすると、カレントシートとなり、シートは自動的に編集可能となります。



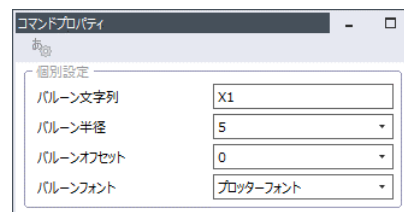
●通り芯の作図

操作説明

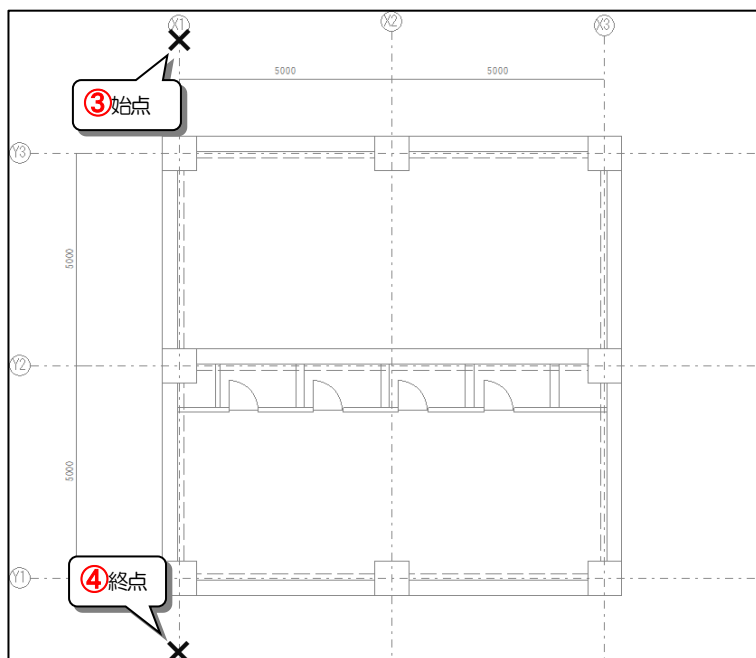
- ① リボンメニューの「**建築躯体**」タブから「**通り芯**」を選択します。



- ② コマンドプロパティで、右記の通り設定します。

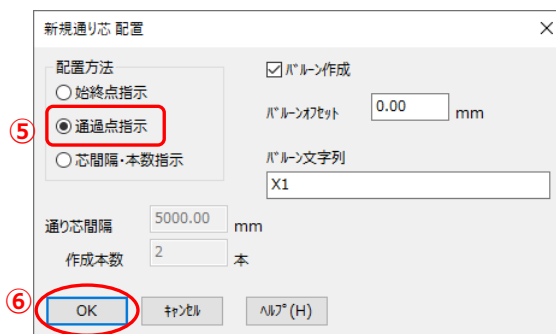


- ③ **X 1**の通り芯の始点をクリックします。



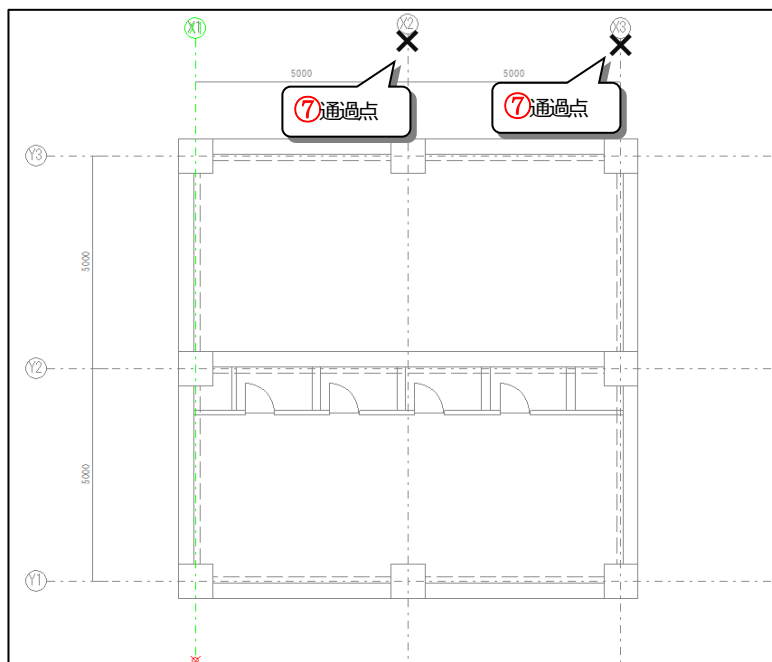
- ④ **X 1**の通り芯の終点をクリックします。

- ⑤ 「新規通り芯配置」ダイアログが表示されますので、配置方法を**通過点指示**にします。

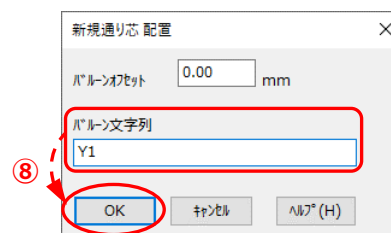


- ⑥ 「**OK**」ボタンをクリックします。

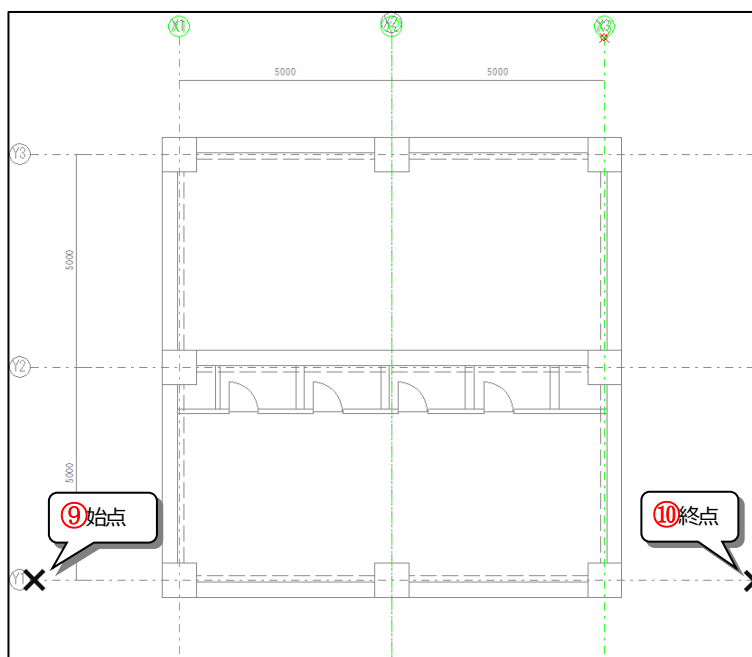
- ⑦ X 2、X 3の通り芯の通過点をクリックします。



- ⑧ X 2、X 3の通過点を指示し終わったあと、**右クリック**すると「新規通り芯配置」ダイアログが表示されますので、**バールン文字列欄に「Y 1」と入力**し、「**OK**」ボタンをクリックします。



- ⑨ Y 1の通り芯の始点をクリックします。



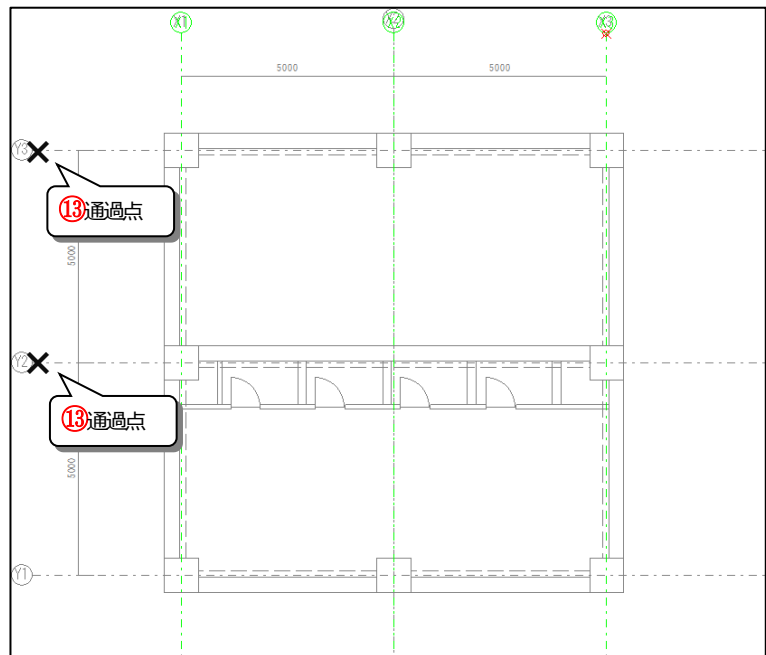
- ⑩ Y 1の通り芯の終点をクリックします。

- ⑪ 「新規通り芯配置」ダイアログが表示されますので、配置方法を**通過点指示**にします。



- ⑫ 「OK」ボタンをクリックします。

- ⑬ Y 2、Y 3の通り芯の**通過点**をクリックします。



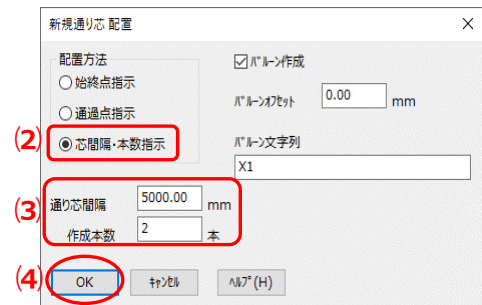
- ⑭ キーボードの「Esc」キーを押し、通り芯の作図を終了します。

ワンポイント

👉 通り芯の間隔が全て同じ場合

通り芯の間隔が全て同じ場合は、芯間隔、本数を指示して一括で作成することもできます。

- (1) コマンドプロパティで、バルーン文字列を「X 1」を入力し、X 1の通り芯の始点と終点をクリックします。
- (2) 「新規通り芯配置」ダイアログの配置方法で「芯間隔・本数指示」を選択します。
- (3) 「通り芯間隔」、「作成本数」を入力します。
- (4) 「OK」ボタンをクリックします。
- (5) 通り芯の配置方向をクリックします。
- (6) 「新規通り芯 配置」ダイアログが表示されますので、「新規通り芯」ボタンをクリックします。
- (7) (1)～(5)の手順を繰り返し、Y 軸の通り芯を作図します。
- (8) キーボードの「Esc」キーで通り芯の作図を終了します。

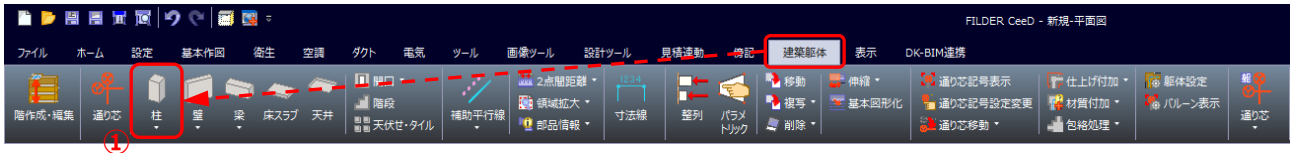


●柱の作図

躯体トレースでは、配置高さはカレントシートの所属する階の FL 高さから作図できます。

操作説明

- ① リボンメニューの「建築躯体」タブから「柱」を選択します。



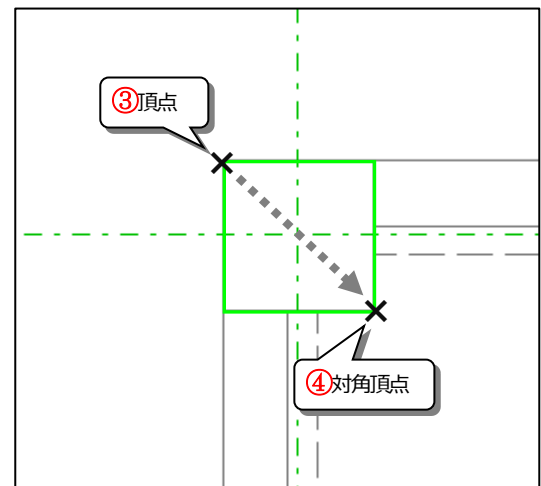
- ② コマンドプロパティで、右記の通り設定します。

※一ロメモ※
高さの基準に関して、「配管設定」の「高さ」タブ内にある「高さ基準」の基準が「FL」になっていることをご確認ください。



- ③ 頂点をクリックします。

- ④ 対角頂点をクリックします。
同じ手順で柱を全てトレースします。

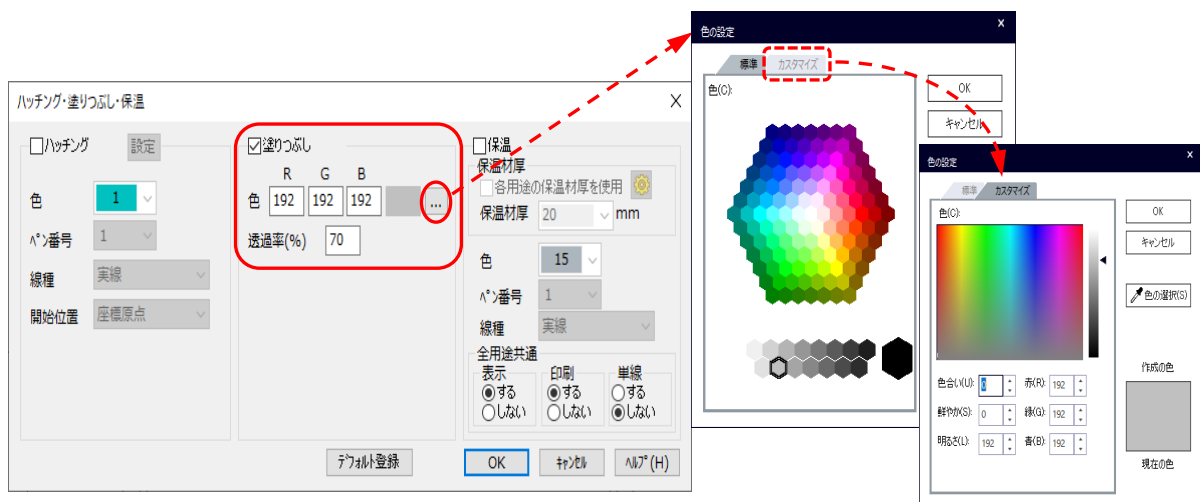
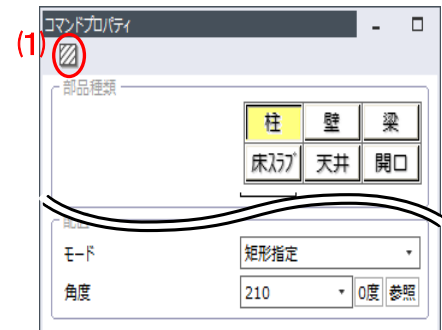


ワンポイント

👉 躯体の塗りつぶし色を変更するには

「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」で設定することができます。

- (1) 柱・壁・梁・床スラブ・天井のコマンドプロパティ左上にある「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」ボタンをクリックします。
- (2) 「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」ダイアログが表示されますので、真ん中の「塗りつぶし」の色・透過率を変更します。
色の右端にある [. . .] をクリックすると、「色の設定」ダイアログが表示され、色の選択ができます。
「カスタマイズ」タブでは、より詳細な色の設定ができます。



●壁の作図

操作説明

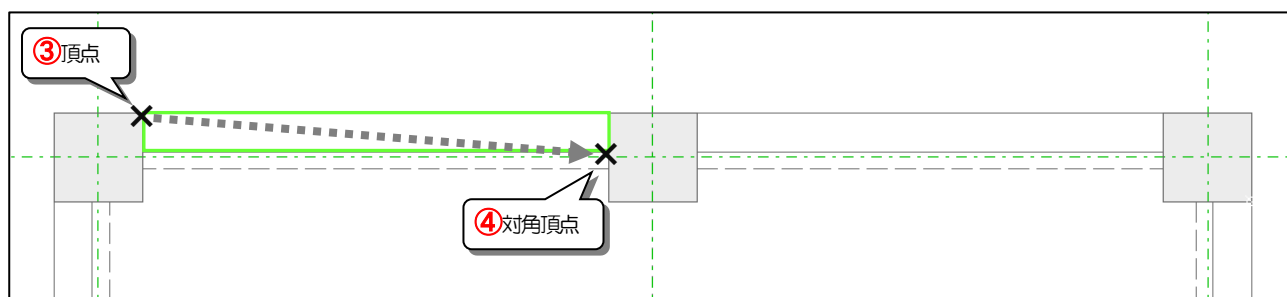
- ① リボンメニューの「建築躯体」タブから「壁」を選択します。



- ② コマンドプロパティで、右記の通り設定します。



- ③ 頂点をクリックします。

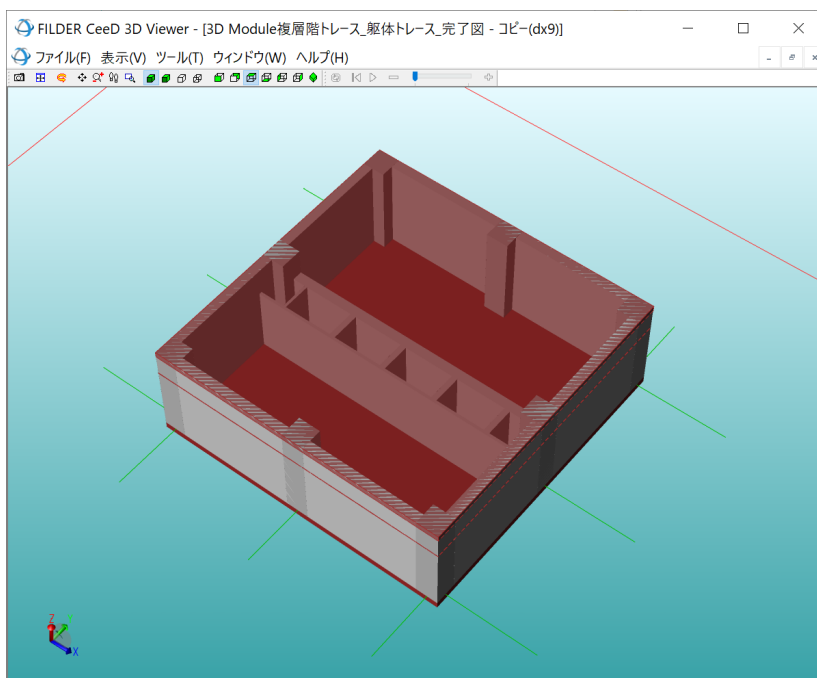


- ④ 対角頂点をクリックします。

同じ手順で壁および間仕切り壁を全てトレースします。

※一口メモ※

床、天井が作図されていない状態で 3D 表示を行うと、FL 高さ、階高の位置に床、天井が表示されます。天井を透過で表示したい場合は、3D 画面上で右クリックし、透過表示切替⇒天井をクリックしてチェックを入れてください。非表示にする場合は、表示切替⇒天井をクリックしてチェックを外してください。



ワンポイント

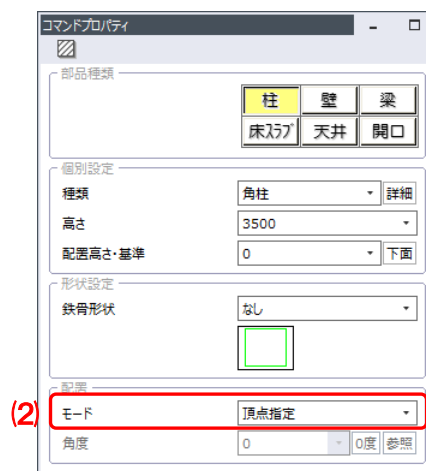
多角形の柱、壁、床、天井の作図

柱や壁、床、天井を作図する際、モードを頂点指定に切替えることで多角形の形状で作図することができます。
ここでは、例として多角形の柱を作図します。

- (1) リボンメニューの「建築躯体」から【柱】を選択します。



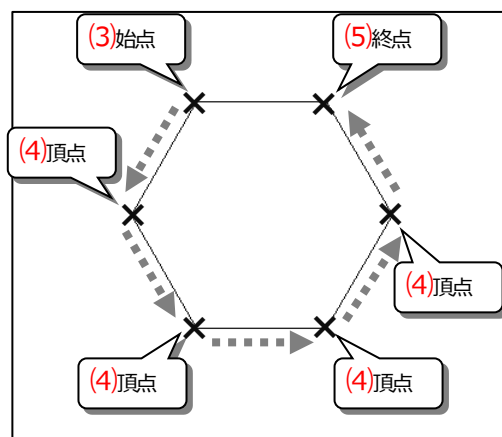
- (2) コマンドプロパティの配置モードを「頂点指定」に設定します。



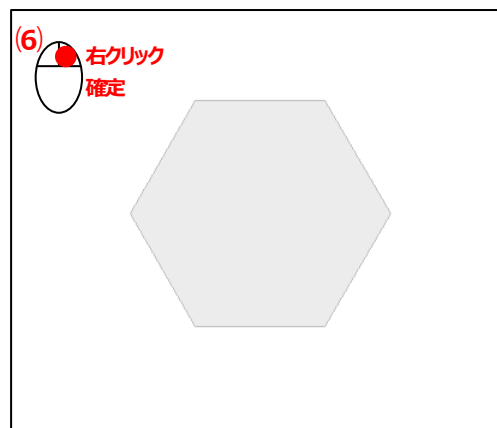
- (3) 多角柱の始点をクリックします。

- (4) 頂点をクリックします。

- (5) 終点をクリックします。



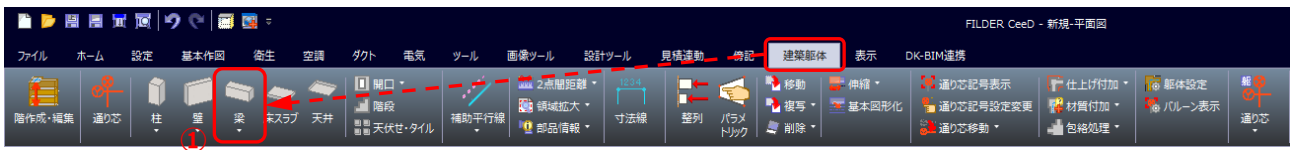
- (6) 右クリックで「確定」すると、終点と始点が自動的に繋がり多角柱が作図できます。



●梁の作図

操作説明

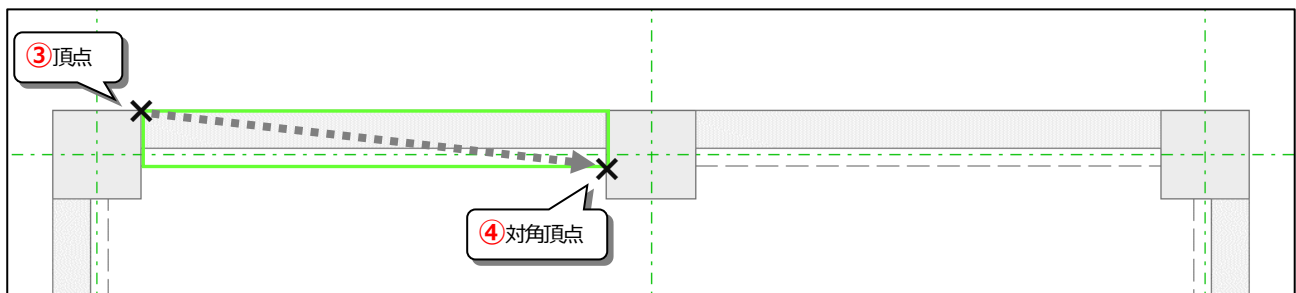
- ① リボンメニューの「**建築躯体**」タブから「**梁**」を選択します。



- ② コマンドプロパティで、右記の通り設定します。



- ③ **頂点**をクリックします。



- ④ **対角頂点**をクリックします。
同じ手順で梁を全てトレースします。

●開口の作図

操作説明

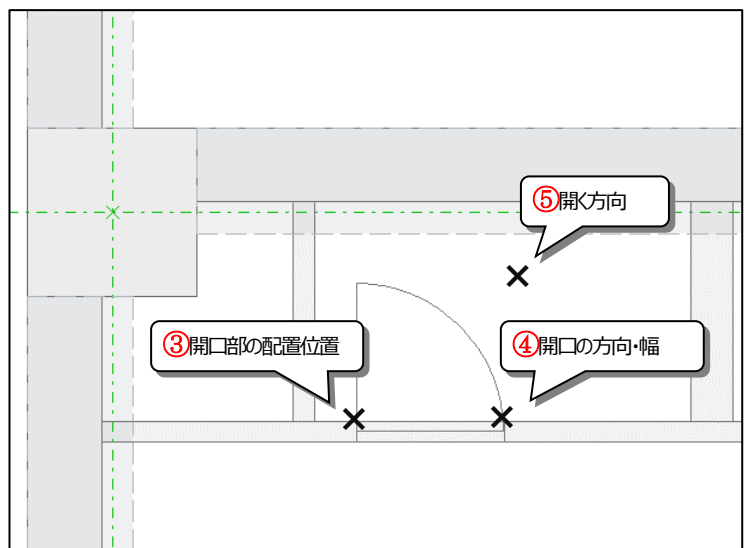
- ① リボンメニューの「**建築躯体**」タブから【**開口**】を選択します。
ここでは、例として【**片開き**】を選択します。



- ② コマンドプロパティで、右記の通り設定します。



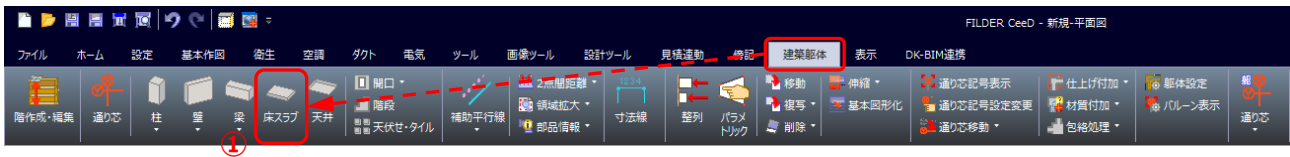
- ③ 開口部の配置位置をクリックします。
- ④ 開口の方向・幅を指示（クリック）します。
- ⑤ 扉を開く方向をクリックします。



●床スラブの作図

操作説明

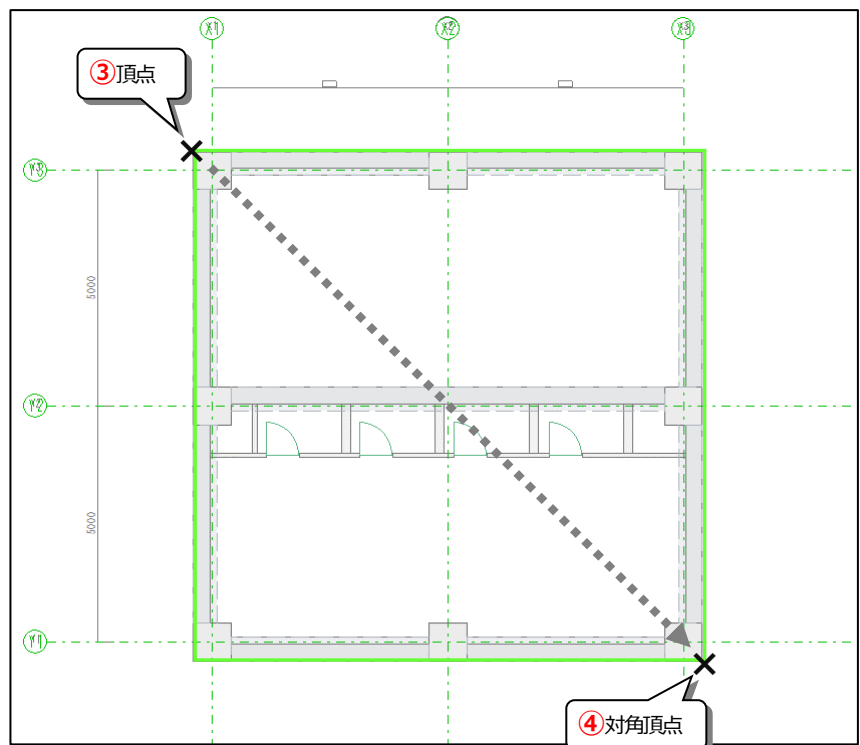
- ① リボンメニューの「**建築躯体**」タブから「**床スラブ**」を選択します。



- ② コマンドプロパティで、右記の通り設定します。



- ③ **頂点**をクリックします。

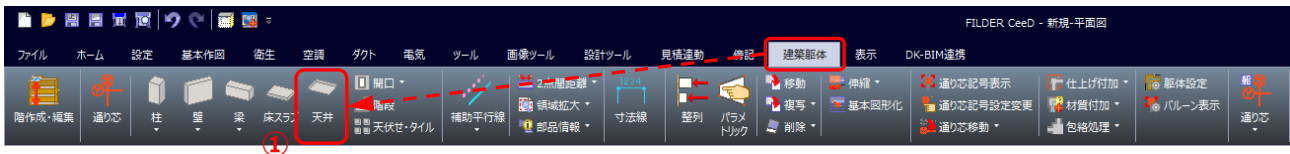


- ④ **対角頂点**をクリックします。

●天井の作図

操作説明

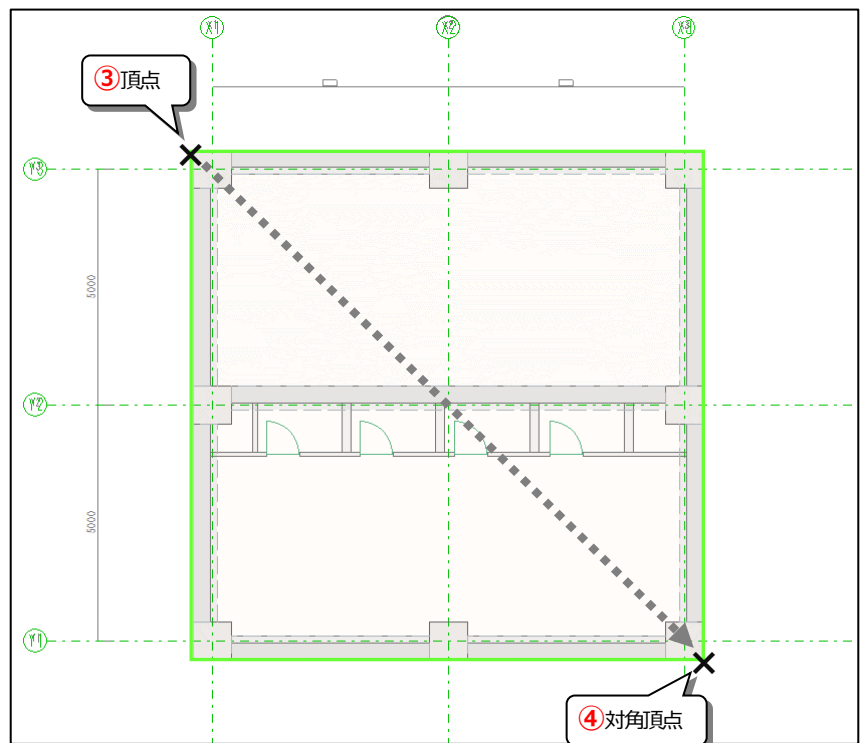
- ① リボンメニューの「**建築躯体**」タブから「**天井**」を選択します。



- ② コマンドプロパティで、右記の通り設定します。



- ③ **頂点**をクリックします。



- ④ **対角頂点**をクリックします。

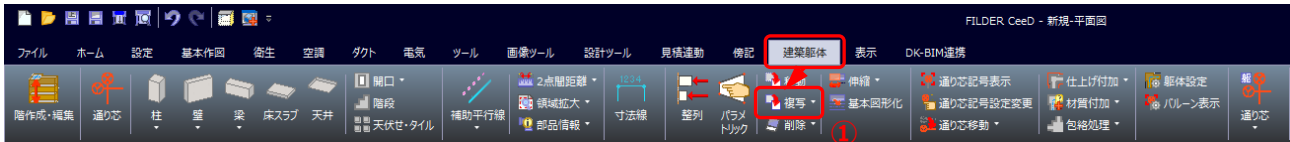
他の階の躯体図を作図する際、作図済みの階を複写して利用することができます。
同じか近い形状の階を作図する場合は「I-1 4. 2階の作成（1階の建築躯体を複写）」をご参照ください。
違う形状の躯体図をトレースする場合、「I-1 5. 3階の作成（3階の建築躯体図を取り込んでトレース）」をご参照ください。

4. 2階の作成（1階の建築躯体を複写）

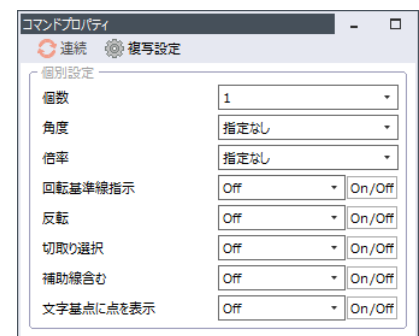
同じか近い形状の躯体図を他の階にもトレースする場合はトレースした躯体図を「複写」します。

操作説明

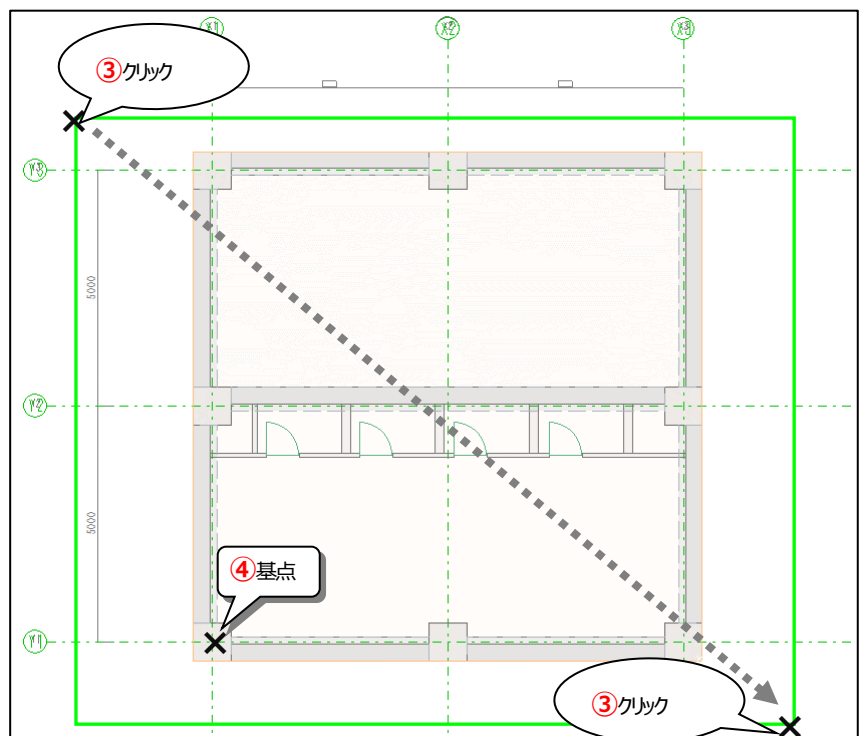
- ① リボンメニューの「建築躯体」タブから「複写」を選択します。



- ② コマンドプロパティで、右記の通り設定します。

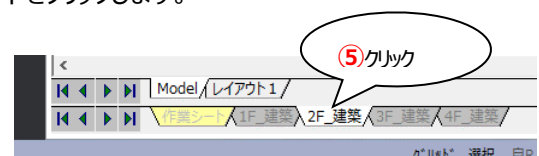


- ③ 複写する図形を枠で囲むように選択し、右クリックで「確定」します。

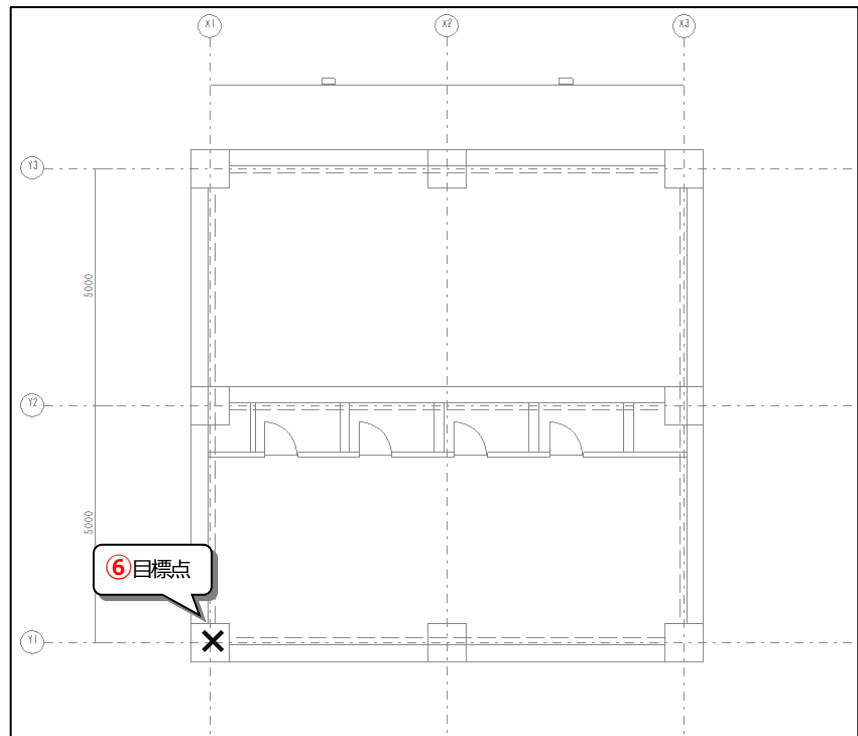


- ④ 基点をクリックします。

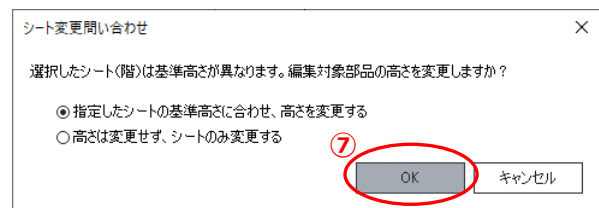
- ⑤ ここでは「2 F_建築」シートに複写しますので、「2 F_建築」シートをクリックします。



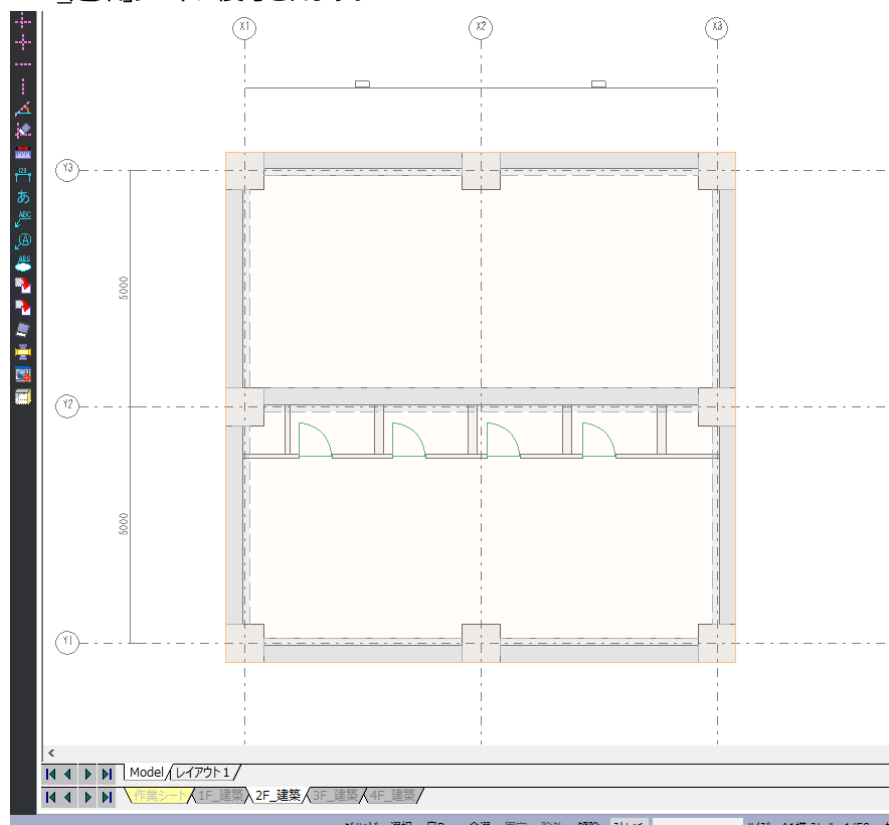
- ⑥ 目標点をクリックします。



- ⑦ 「シート変更問い合わせ」ダイアログが表示されますので、「指定したシートの基準高さに合わせ、高さを変更する」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑧ 「1 F_建築」シートの躯体が「2 F_建築」シートに複写されます。



- ⑨ キーボードの「Esc」キーを押して、複写を終了します。

5. 3階の作成（3階の建築躯体図を取り込んでトレース）

新たに違う躯体図をトレースする場合は、読込んだ躯体図ファイルの図形を新しく作成したシートにファイル間コピーします。

操作説明

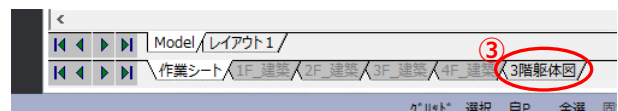
- ① シートを右クリックし、ショートカットメニューから「シート新規作成」を選択します。



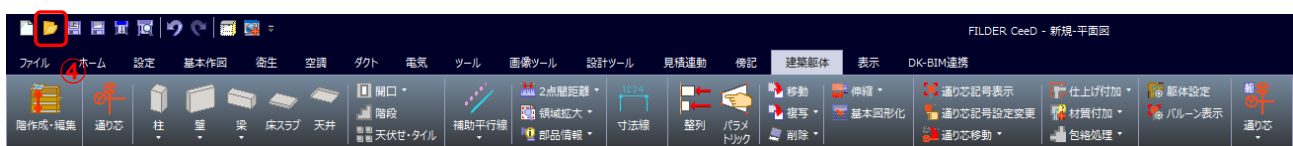
- ② 「シート新規作成」ダイアログが表示されますので、名称を入力し、「OK」ボタンをクリックします。ここでは名称を「3階躯体図」とします。



- ③ 「3階躯体図」シートが作成されます。



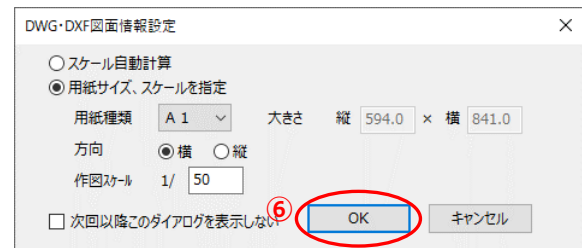
- ④ クイックアクセスツールバーから【開く】を選択します。
(リボンメニューの「ファイル」、「ホーム」タブの中にもあります)



- ⑤ 「開く」ダイアログが表示されますので、**トレースする建築躯体図面を選択し、「開く」ボタンをクリック**します。
ここでは、「3階建築躯体図.dwg」ファイルを開きます。



- ⑥ 「DWG・DXF 図面情報設定」ダイアログが表示されますので、下記のように設定し、「**OK**」ボタンをクリックします。

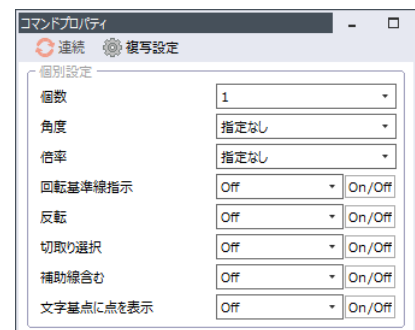


- ⑦ 選択した図面が開きます。
「I-1 1. 躯体図面の読入」のワンポイントと同様にスケール、寸法の確認をします。

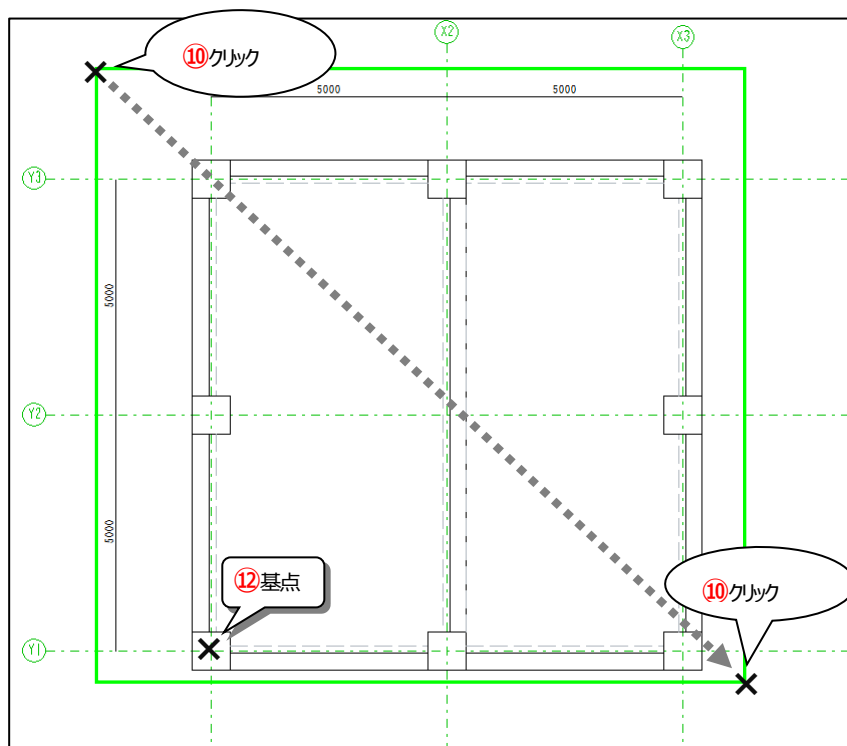
- ⑧ リボンメニューの「**建築躯体**」タブから「**複写**」を選択します。



- ⑨ コマンドプロパティで、右記の通り設定します。



- ⑩ 複写する図形を枠で囲むように選択します。

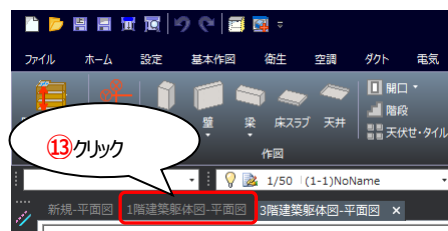


- ⑪ 右クリックで「確定」します。

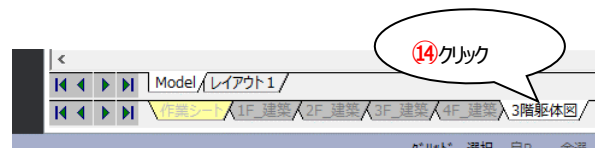


- ⑫ 基点をクリックします。

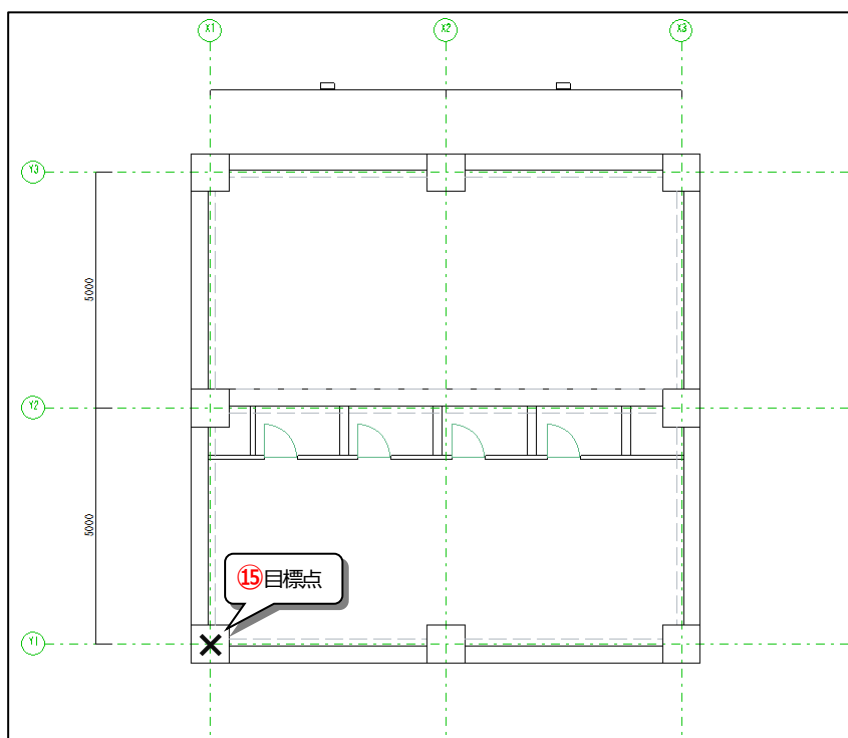
- ⑬ 「1階建築躯体図-平面図」の図面タブをクリックし、複写先の図面に切替えます。



- ⑭ 「3階躯体図」シートをクリックします。



- ⑮ 目標点をクリックします。

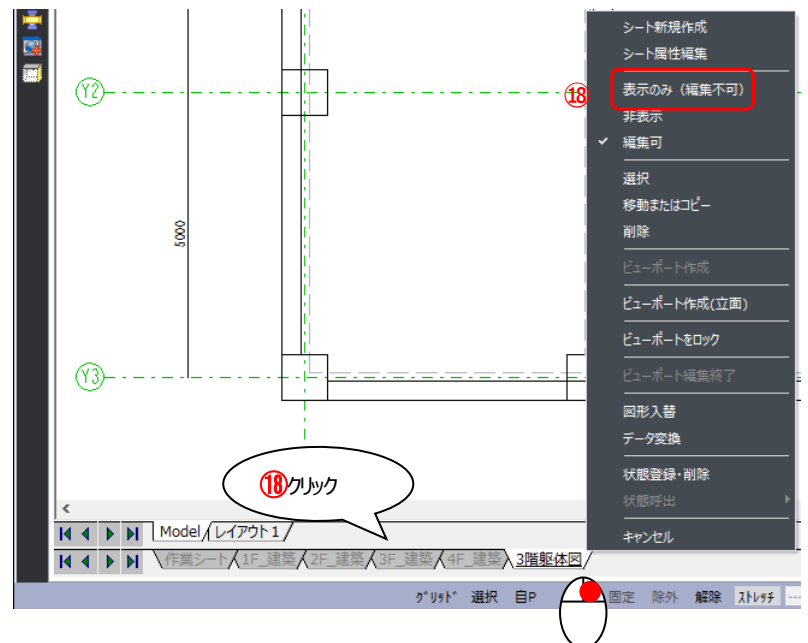


- ⑯ キーボードの「Esc」キーを押して、複写を終了します。

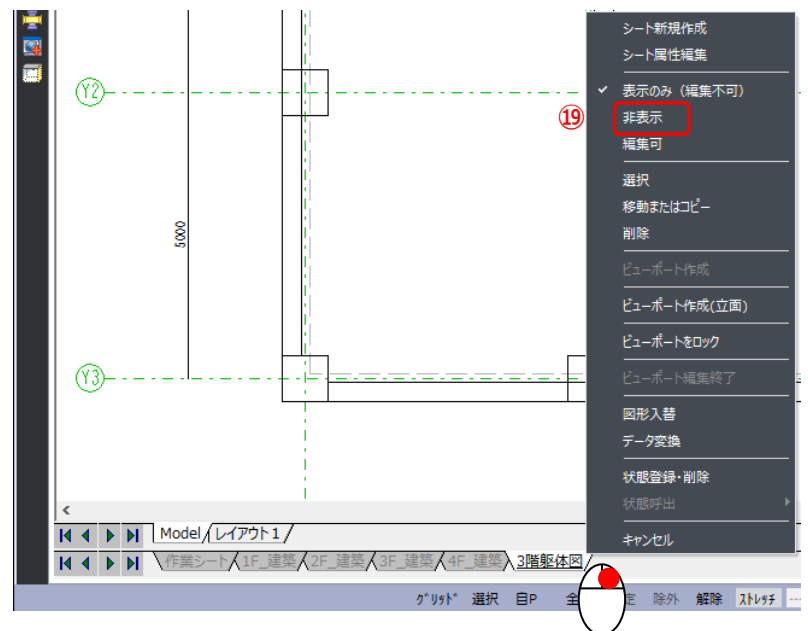
- ⑰ 「作業シート」を右クリックし、ショートカットメニューから「非表示」に設定します。



- ⑱ 「I-1 3. 1階建築図のトレース」の手順で「3階躯体図」を「表示のみ (編集不可)」にし、トレースする「3F_建築」シートをクリックし、カレントにして3階躯体図をトレースします。



- ⑲ 「3F_建築」シートにトレースし終わりましたら、「3階躯体図」シートを右クリックし、ショートカットメニューから「非表示」に設定します。



- ⑳ 1～3階までトレースが完成しました。

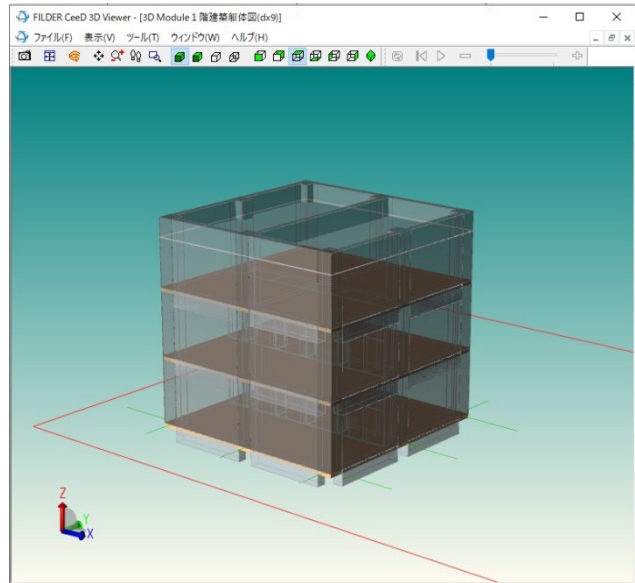
ワンポイント



トレースした建築躯体を 3D 表示する場合

3D 表示する際、非表示のシートに作図されたものは表示できませんので、シートを編集可もしくは表示のみ(編集不可)に設定してから 3D 表示してください。

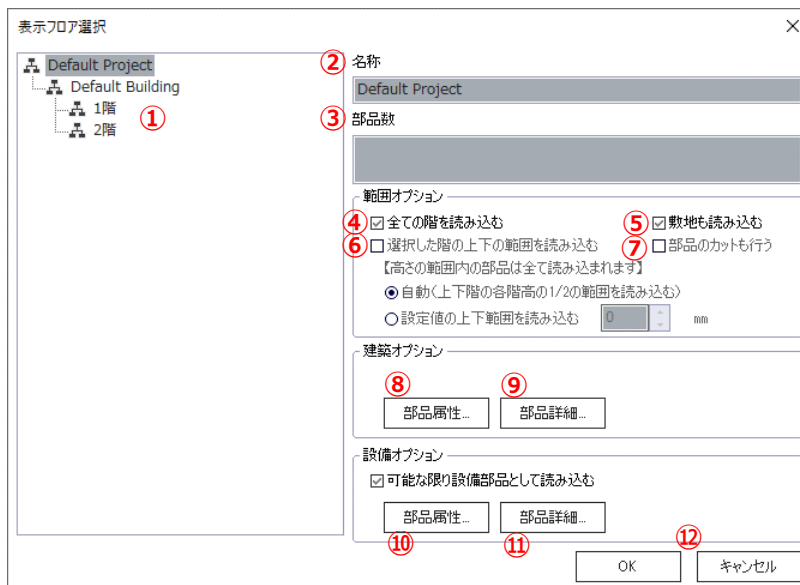
天井を透過で表示したい場合は、3D 画面上で右クリックし、透過表示切替⇒天井をクリックしてチェックを入れてください。非表示にする場合は、表示切替⇒天井をクリックしてチェックを外してください。



I - 2. I F Cの建築図を元に作図する場合

FILDER CeeD に IFC ファイルを読み込む際、階情報がある場合、下記ダイアログが表示され、「全ての階」または「指定した階」のいずれかを指定して読み込むことができます。

その他にも詳細な設定ができます。



- ① 図面内に存在する階の一覧が表示されます。
- ② 「名称」：ダイアログ左側の階の一覧にて選択された名称が表示されます。
- ③ 「部品数」：今後、読み込む対象の部品数等を表示予定です。
- ④ 「全ての階を読み込む」：チェックを入れると、全ての階を読み込みます。初期値はチェックが入った状態になります。
- ⑤ 「敷地も読み込む」：チェックが入っていると、どの階が選択されていても敷地を読み込みます。初期値はチェックが入った状態になります。
また、敷地に関しては「部品のカットも行う」は適応されません。
※ 敷地はひとつの IFC ファイルにひとつだけあります。階ごとに敷地があるものではありません。
- ⑥ 「選択した階の上下の設定範囲を読み込む」：チェックを入れると、読み込む範囲によって、下記の通りとなります。
「自動」：選択された階以外にも、上下階の各階高の 1/2 の範囲を読み込みます。
「設定値の上下範囲を読み込む」：選択された階以外にも、上下共通の設定値（下の範囲はマイナス方向）の範囲を読み込みます。
また、選択した階とその階の上限・下限から設定値分上の上下の高さの範囲で、選択した階でなくても一部でも部品が入っていればその部品を読み込みます。
- ⑦ 「部品のカットも行う」：チェックを入れると、敷地を除く全ての部品に対して、上限/下限の範囲にて部品をカットします。ただし、カットできない部品（例：機器、器具）はそのままとなります。



※注意※

④、⑤は選んだ階に関係なく、IFC ファイル全体についての設定となります。
その他、②、③、⑥以降は階ごとの設定項目となります。

- ⑧ 「部品属性」ボタン：読み込んで変換した後の**建築部品**のレイヤ、色、線種、線幅を設定できます。

- (1) 「部品に【色】が設定されている場合はその色を使用する」

チェック ON：元の色を使用します。また、線種・線幅はダイアログの線種・線幅を使用します。

チェック OFF：「部品に本ダイアログの設定の【色】を使用する」のチェックの「ON」・「OFF」の状態に従います。

- (2) 「部品に本ダイアログの設定の【色】を使用する」

チェック ON：ダイアログの設定の色を使用します。また、線種・線幅に関してもダイアログの線種・線幅を使用します。

チェック OFF：「部品に【色】が設定されている場合はその色を使用する」のチェックが「OFF」の場合、躯体設定に柱・壁・梁・スラブ・天井・建具・仕上・階段の色が設定されていますので、その設定されている色を使用します。また、線種・線幅に関しても躯体設定の線種・線幅を使用します。他の部品に関しては、基本作図設定で設定されている緑色を使用します。その場合、線種は実線、線幅は1番となります。

- (3) 「部品に【レイヤ】が設定されている場合はそのレイヤを使用する」

チェック ON：元のレイヤの通りに読み込みます。

チェック OFF：FILDER CeeD のレイヤ設定の通りに読み込みます。

- (4) 「レイヤと同じようにシートを分ける」：シートがレイヤと同じように読み込まれます。

- (5) 「1つのシートに入れる」：全てが1つのシートに入ります。

- ⑨ 「部品詳細」ボタン：読み込む建築部品の種類を選択できます。

- ⑩ **「部品属性」ボタン**：読込んで変換した後の**設備部品**のレイヤ、色、線種、線幅を設定できます。

[illegible]

- (1) 「部品に【色】が設定されている場合はその色を使用する」

チェック ON : 元の色を使用します。また、線種・線幅はダイアログの線種・線幅を使用します。

チェック OFF : 「部品に本ダイアログの設定の【色】を使用する」のチェックの「ON」・「OFF」の状態に従います。

- (2) 「部品に本ダイアログの設定の【色】を使用する」

チェック ON : ダイアログの設定の色を使用します。また、線種・線幅についてもダイアログの線種・線幅を使用します。

チェック OFF :「部品に【色】が設定されている場合はその色を使用する」のチェックが「OFF」の場合、配管設定の配管マスターで設定されている色を使用します。また、線種、線色に関しても配管設定の配管マスターの線種・線色を使用します。その他部品に関しては、基本作図設定で設定されている線色を使用されます。その場合、線幅に関しても基本作図の設定を使用され、線種は実線となります。

- (3) 「部品に【レイヤ】が設定されている場合はそのレイヤを使用する」

チェック ON : 元のレイヤの通りに読み込みます。

チェック OFF: FINDER CeeD のレイヤ設定の通りに読み込みます。

- (4) 「レイヤと同じようにシートを分ける」：シートがレイヤと同じように読み込まれます。

- (5) 「1つのシートに入れる」：全てが1つのシートに入ります。

- ⑪ 「部品詳細」ボタン：読み込む設備部品の種類を選択できます。

読み込み部品詳細

対象階

☒ 配管
☒ タクト
☒ 機器・器具
☒ 電気配送部材
☒ その他

上階

☒ 配管
☒ タクト
☒ 機器・器具
☒ 電気配送部材
☒ その他

下階

☒ 配管
☒ タクト
☒ 機器・器具
☒ 電気配送部材
☒ その他

階なし

☒ 配管
☒ タクト
☒ 機器・器具
☒ 電気配送部材
☒ その他

ヘルプ

OK

キャンセル

- ⑫ 設定を変更せずに終了する場合は、**[キャンセル]** ボタンをクリックします。

1. IFC 読み込み時の階情報の取込み

FILDER CeeD では、IFC 読み込み時、階情報がある場合それぞれの階の階情報（「グループ」、「階名称」、「基準高さ」）をシートに自動で設定し、各階ごとのシートに割り振って読み込まれます。

シート・部分図制御(作業空間)

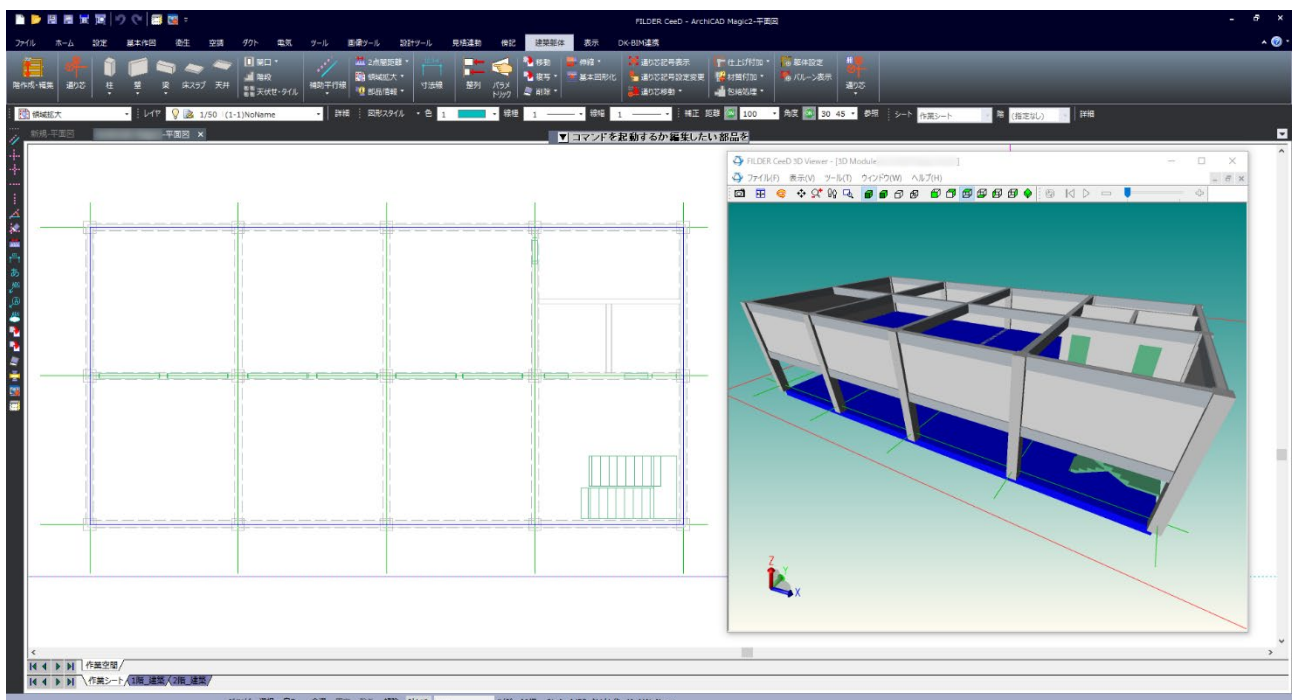
一覧表示 2 × 3 シート・部分図表示 すべて表示 カレントのシート/部分図 作業シート

名称	作成種類	レイアウト/レイヤ	グループ	階名称	基準高さ	配置X座標	配置Y座標	回転角度	X尺度	Y尺度
用紙	部分図	指定なし				0.0000	0.0000	0.0000	1.0000	1.0000
作業シート	シート	作業空間				0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
1階_柱	シート	作業空間	1階_建築	1階	450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
1階_梁	シート	作業空間	1階_建築	1階	450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
1階_壁	シート	作業空間	1階_建築	1階	450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
1階_建具	シート	作業空間	1階_建築	1階	450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
1階_階段	シート	作業空間	1階_建築	1階	450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
1階_スラブ	シート	作業空間	1階_建築	1階	450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
1階_通り芯	シート	作業空間	1階_建築	1階	450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
2階_柱	シート	作業空間	2階_建築	2階	3450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
2階_壁	シート	作業空間	2階_建築	2階	3450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
2階_建具	シート	作業空間	2階_建築	2階	3450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
2階_梁	シート	作業空間	2階_建築	2階	3450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200
2階_スラブ	シート	作業空間	2階_建築	2階	3450.0	0.0000	0.0000	0.0000	0.0200	0.0200

↑ 移動 ↓

新規追加 編集 削除 階の作成・編集 表示状態変更 編集状態変更 属性変更 状態登録・削除 状態呼出

☐ 作業空間を使用しない(レイアウト・シートのみを使用する) デフォルト登録 ヘルプ(H) OK キャンセル



シートがグループ化されている場合、グループシート内のシートをカレントシートにする方法は「Ⅲ・3 1 シートをグループ化する」の⑤をご参照ください。

設備作図は「Ⅱ．複層階の設備」へ進みます。

Ⅱ. 複層階の設備

シートに階情報が設定されている場合、階の高さを気にすることなくそのシートに設定されている FL 高さを基準として設備を作図・編集することができます。

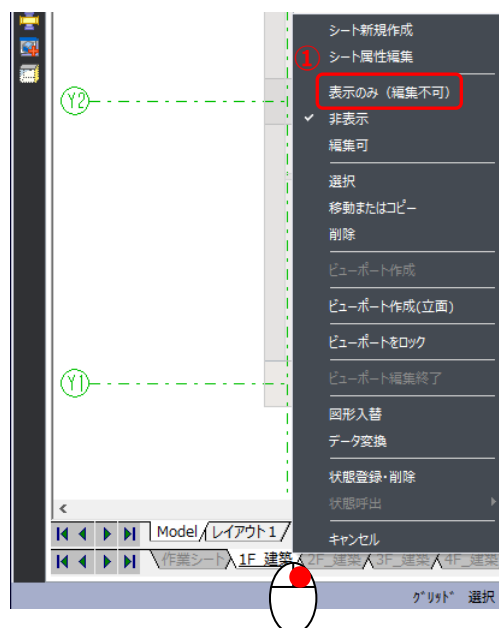
ここでは、例として「Ⅰ-1 建築図を作図する場合」でトレースした 1 階の躯体図に衛生設備を作図し、さらにシャフトシートを作成しシャフトを作図します。

Ⅱ-1. 設備を作図する

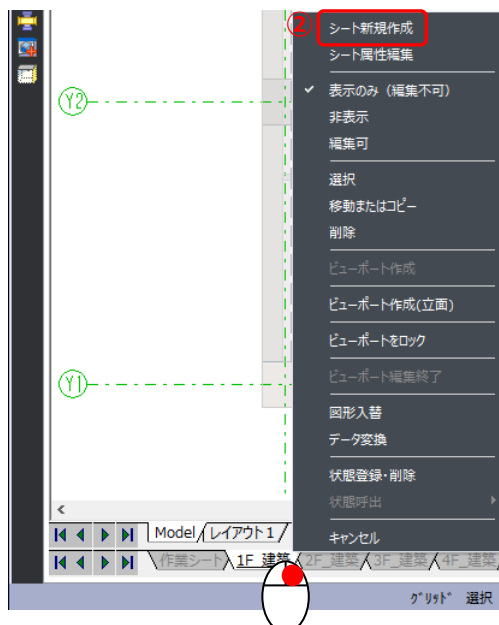
1. 衛生設備を作図する

操作説明

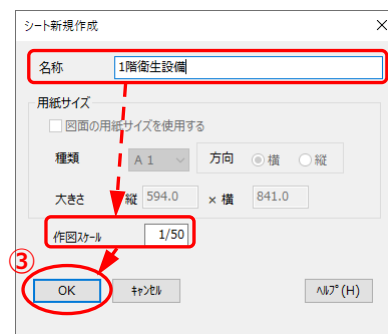
- ① 「Shift」キーを押したまま一番左の「作業シート」シートと一番右の「3 階躯体図」シートを選択し、選択したシートを右クリックし、ショートカットメニューから「非表示」を選択します。
「1 F_建築」シートを左クリック後、シートを右クリックし、ショートカットメニューから「表示のみ（編集不可）」を選択します。



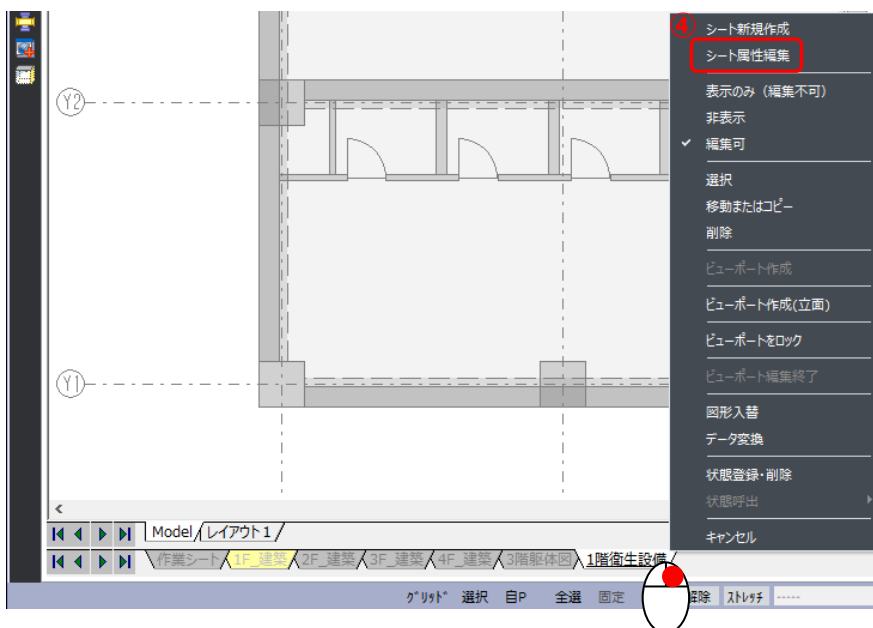
- ② 設備を作図するシートを作成します。
シートを右クリックし、ショートカットメニューから「シート新規作成」を選択します。



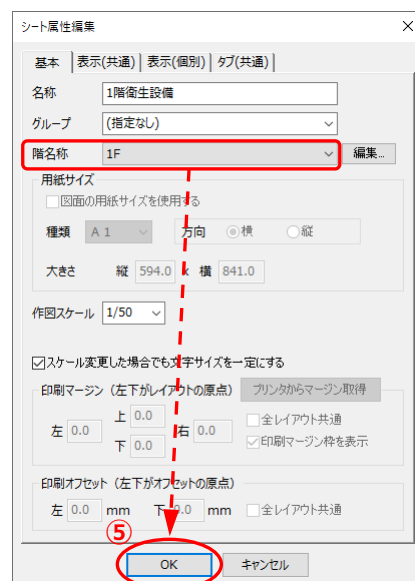
- ③ 「シート新規作成」ダイアログが表示されますので、「名称」「作図スケール」の設定をし、「OK」ボタンをクリックします。
ここでは、例としてシート名称を「1 階衛生設備」とし、作図スケールを「1/50」とします。



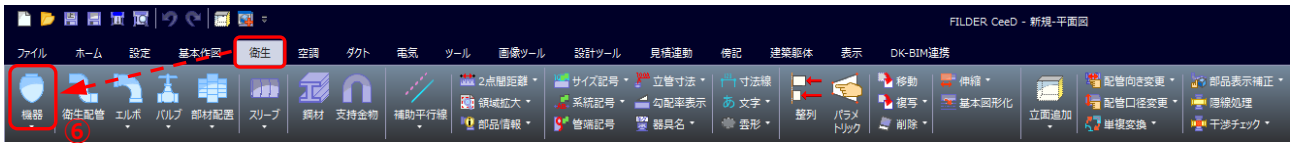
- ④ 作成した「1 階衛生設備」シートを左クリック後、シートを右クリックし、ショートカットメニューから「シート属性編集」を選択します。



- ⑤ 「シート属性編集」ダイアログが表示されますので、「階名称」欄の▼をクリックし、プルダウンメニューから設定する階を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
ここで作図するのは1階の衛生設備なので、「1F」を選択します。



- ⑥ リボンメニューの「衛生」タブから【機器】を選択します。



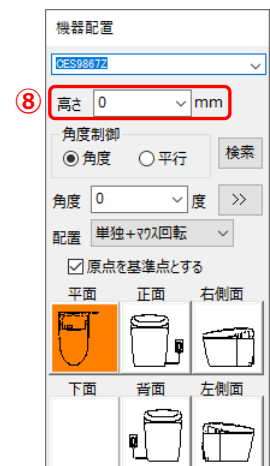
- ⑦ 「機器配置」選択ダイアログが表示されますので、配置する機器をダブルクリックします。
ここでは、例として腰掛け式便器の「CES9867Z」を配置します。

※一口メモ※

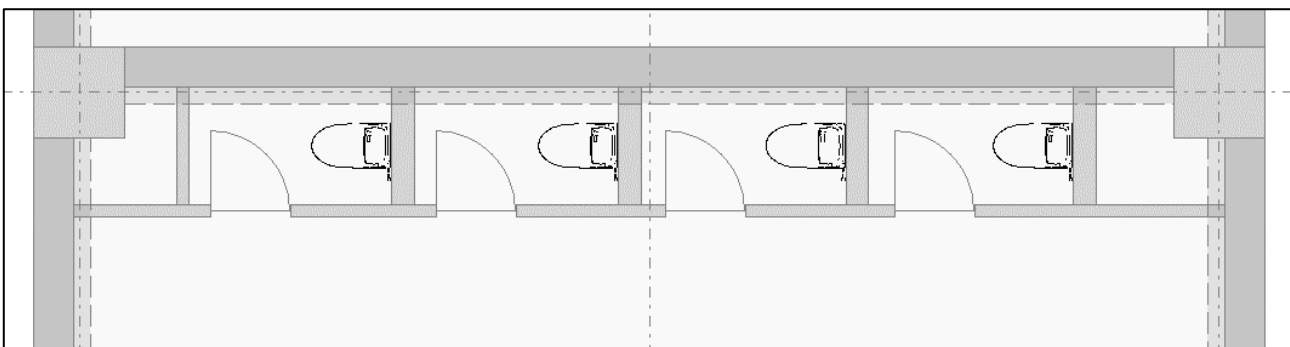
高さの基準に関して、「配管設定」の「高さ」タブ内にある「高さ基準」の基準が「F L」になっていることをご確認ください。



- ⑧ 「機器配置」設定ダイアログが表示されますので、高さを「0」に設定します。



- ⑨ 機器を配置します。

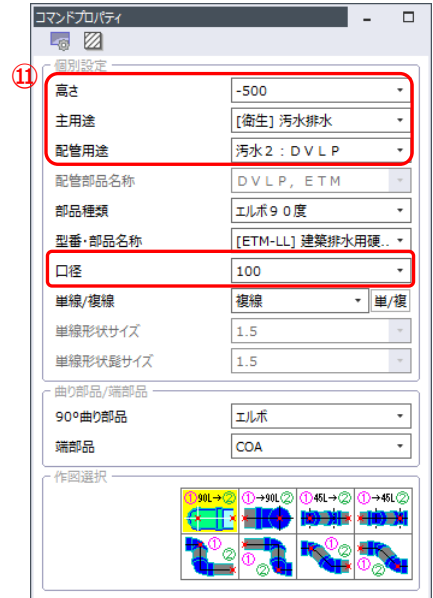


- ⑩ リボンメニューの「衛生」タブから【衛生配管】を選択します。

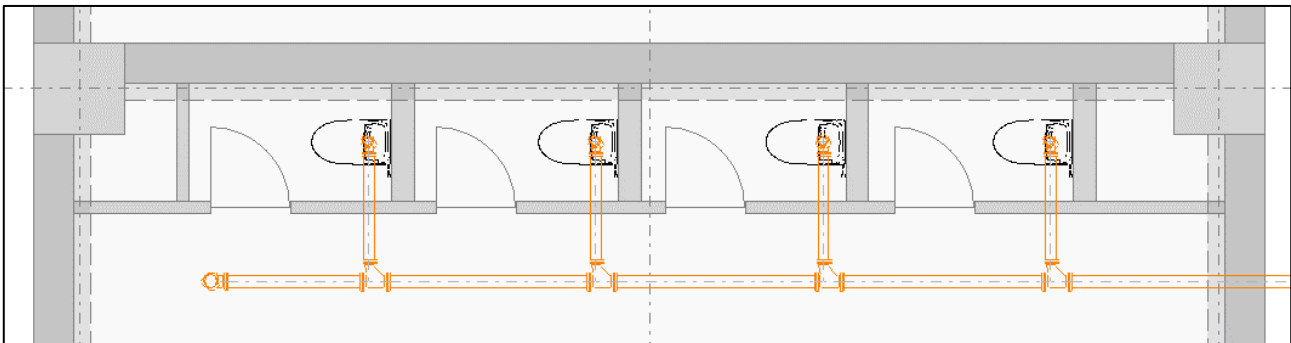


- ⑪ コマンドプロパティで、下記のように設定します。

- ・高さ : -500
- ・主用途 : 【衛生】 汚水排水
- ・配管用途 : 汚水 2 : DVLP
- ・口径 : 100



- ⑫ 汚水配管の主管を作図し、機器と主管を枝管で繋げます。



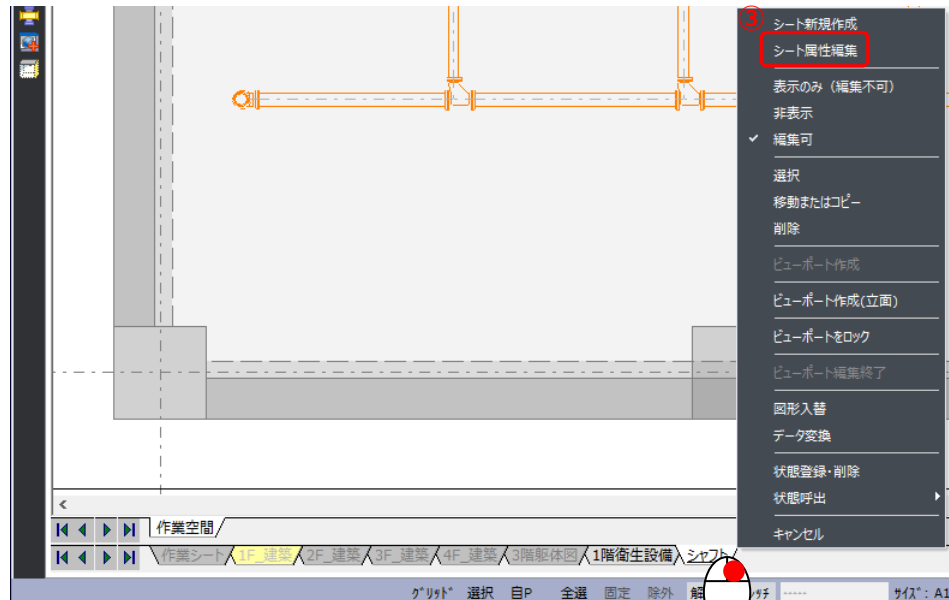
2. シャフトを作図する

操作説明

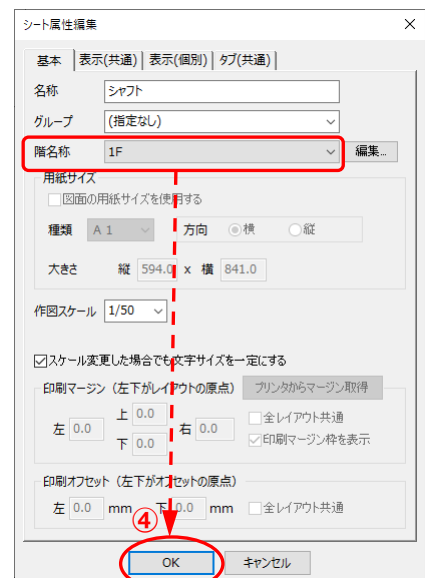
- ① 「シャフト」を作図するシートを作成します。
シートを右クリックし、ショートカットメニューから「シート新規作成」を選択します。
- ② 「シート新規作成」ダイアログが表示されますので、「名称」「作図スケール」の設定をし、「OK」ボタンをクリックします。
ここでは名称を「シャフト」とし、作図スケールを「1/50」とします。



- ③ 作成した「シャフト」シートを左クリック後、シートを右クリックし、ショートカットメニューから「シート属性編集」を選択します。



- ④ 「シート属性編集」ダイアログが表示されますので、「階名称」欄の▼をクリックし、プルダウンメニューから設定する階を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
ここでは「1F」を選択します。



- ⑤ 衛生配管の延長上にシャフトを作図するために、配置する位置に補助線を作図します。

リボンメニューの「衛生」タブの【補助平行線】から【補助線】を選択します。



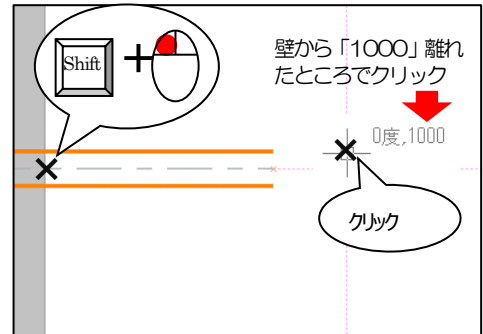
- ⑥ 衛生配管の中心線と壁から「1000」離れた位置に補助線を引きます。

ワンポイント



壁からの距離の測り方

- (1) [補助水平垂直線]コマンドを選択し、「Shift」キーを押しながら壁と配管が交差している「交点」をクリックすると基準点が壁に移動します。
- (2) カーソルに角度・距離が付随していますので、距離が「1000」となったところでクリックし補助線を作図します。（右図は角度丸め・距離丸めがONの時）

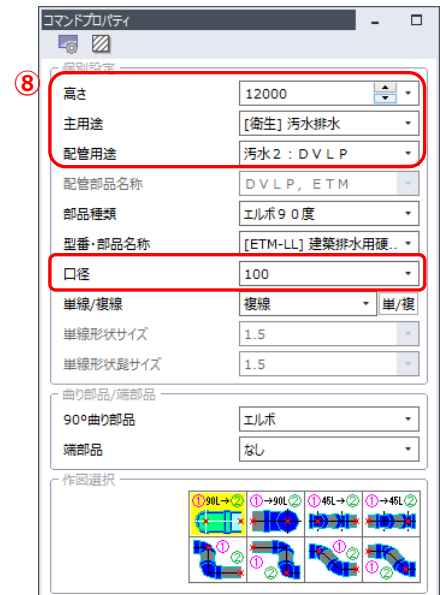


- ⑦ リボンメニューの「衛生」タブから【衛生配管】を選択します。

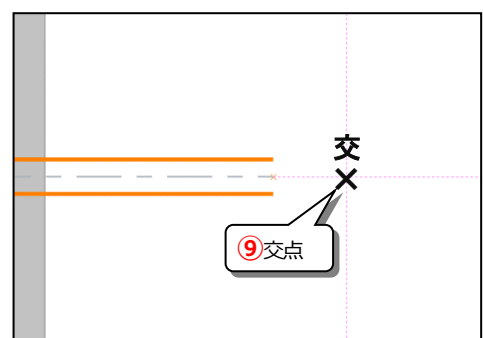


- ⑧ コマンドプロパティで、下記のように設定します。

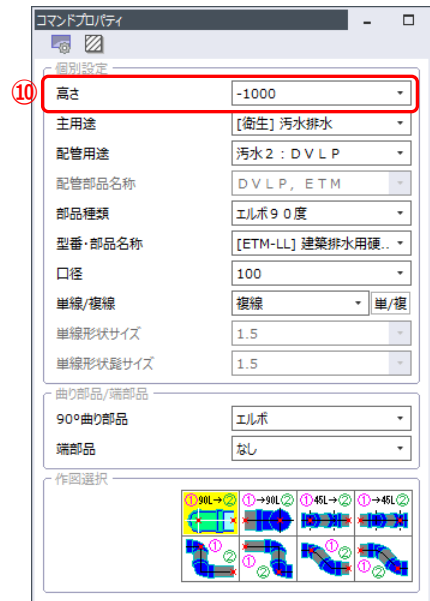
- ・高さ : 12000
- ・主用途 : [衛生] 汚水排水
- ・配管用途 : 汚水2 : DVLP
- ・口径 : 100



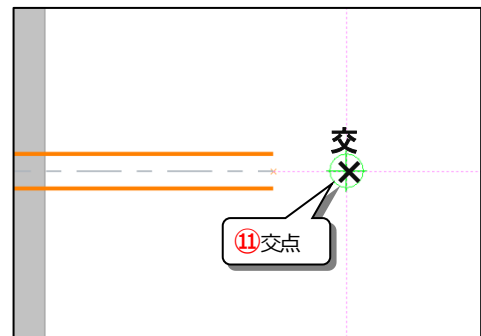
- ⑨ 補助線の「交」と表示される1点目をクリックします。



- ⑩ コマンドプロパティの高さを「-1000」に設定します。

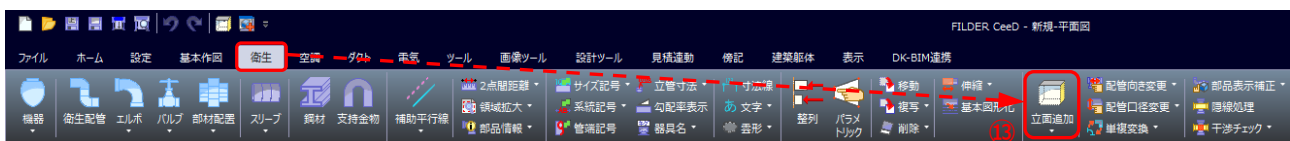


- ⑪ “交”と表示される点をクリックし、シャフトを作図します。

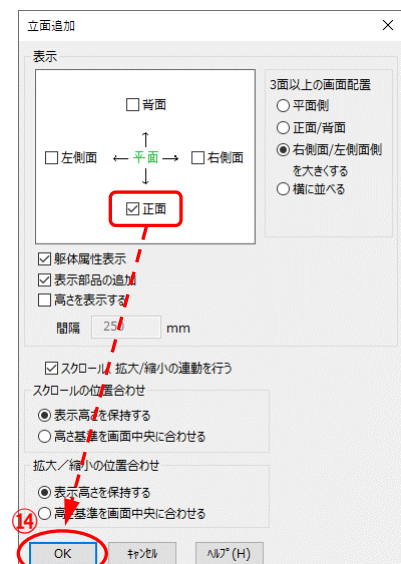


- ⑫ 「1階衛生設備」シートを左クリックし、カレントシートにします。

- ⑬ 「Ⅱ-1 1. 衛生設備を作図する」で作図した配管とシャフトを接続しますので、立面で表示します。
リボンメニューの「衛生」タブから【立面追加】を選択します。

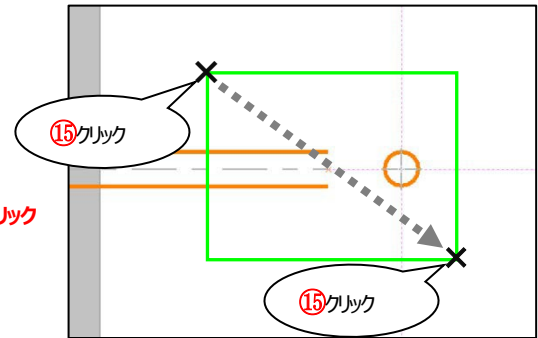


- ⑭ 「立面追加」ダイアログが表示されますので、表示の「正面」、「背面」、「右側面」、「左側面」の中の表示したい面にチェックを入れます。
ここでは、例として「正面」にのみチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。



⑮ シャフト周りの配管を枠で囲むように選択します。

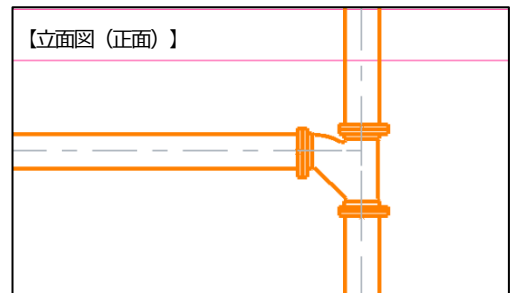
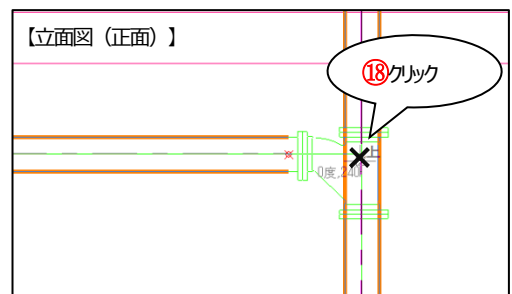
⑯ 右クリックで確定します。



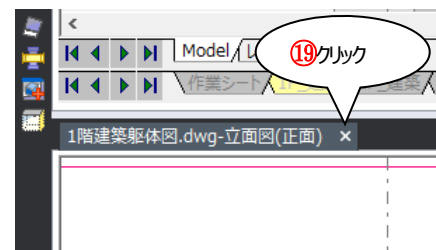
⑰ 立面画面が表示されますので、立面画面で接続する配管を選択し、配管のコントロールポイント（▲）をクリックします。



⑱ シャフトの中心線上でクリックし接続すると、ティーズが自動発生し接続されます。



⑲ 立面図ファイルタブの「×」をクリックし、立面ウィンドウを閉じます



ワンポイント

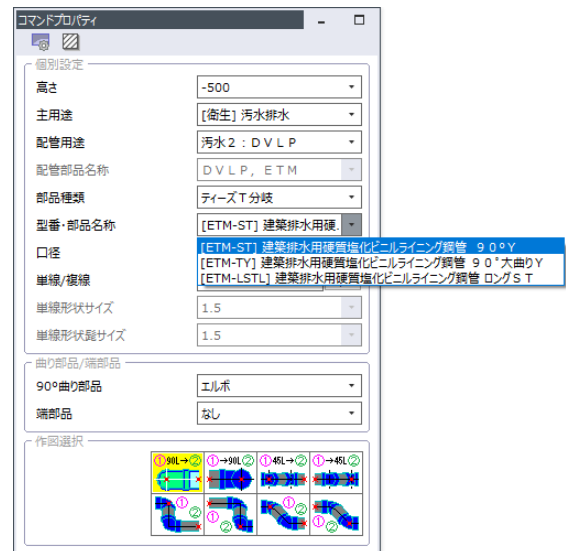


接続する配管サイズが異なる場合

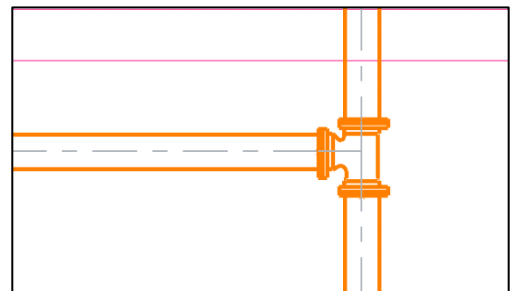
接続する配管サイズが異なる場合、コントロールポイントで配管同士を接続するとレデューサが発生します。
異径ティーズで接続したい場合は、[衛生配管] コマンドで配管の接続点から作図し、シャフトと接続してください。
(1) リボンメニューの「衛生」タブから[衛生配管]を選択します。



(2) コマンドプロパティで、接続する部材を選択します。



(3) シャフトと配管を接続します。



II-2. 2階の設備を作成（1階の設備を複写）

同じ設備を別の階にも配置したい場合、設備の移動や複写をすることができます。

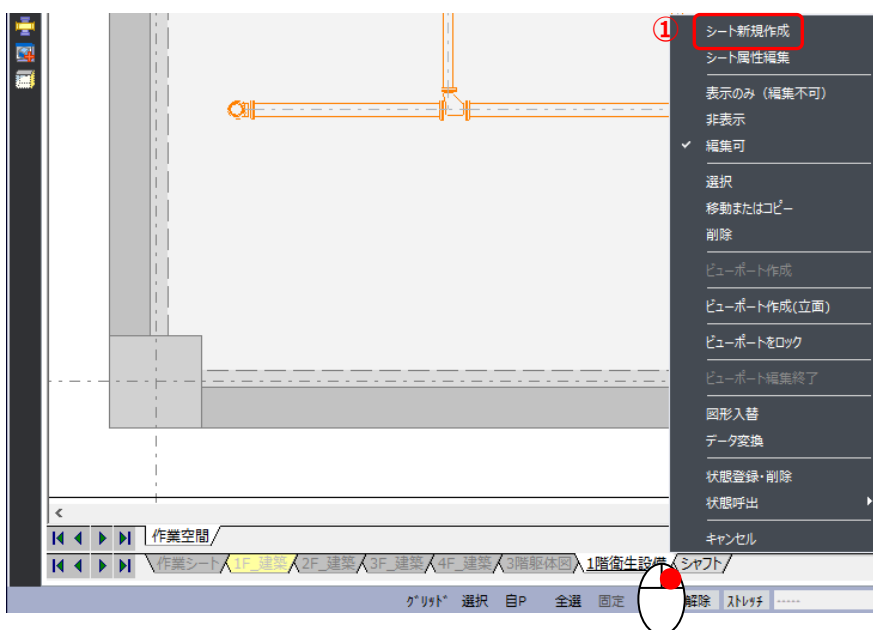
ここでは、例として「1階衛生設備」内の設備を「2階衛生設備」シートへ複写します。

※ サイズ記号に関しては、後で配置するためここでは自動配置しないよう設定しております。

操作説明

- ① 設備を作図するシートを作成します。

シートを右クリックし、ショートカットメニューから「シート新規作成」を選択します。

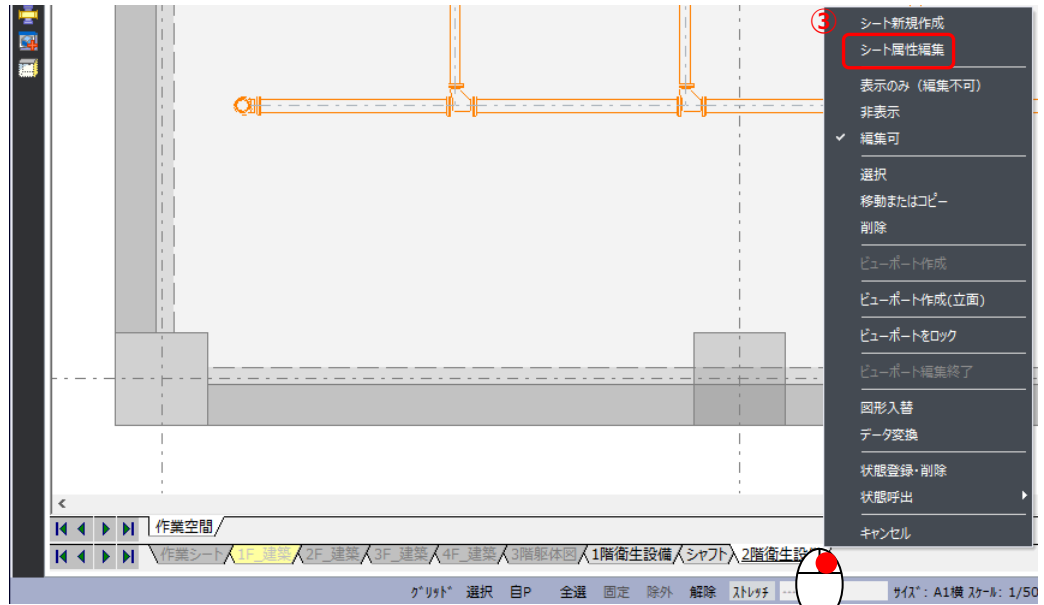


- ② 「シート新規作成」ダイアログが表示されますので、「名称」「作図スケール」の設定をし、「OK」ボタンをクリックします。

ここでは、例としてシート名称を「2階衛生設備」とし、作図スケールを「1/50」とします。

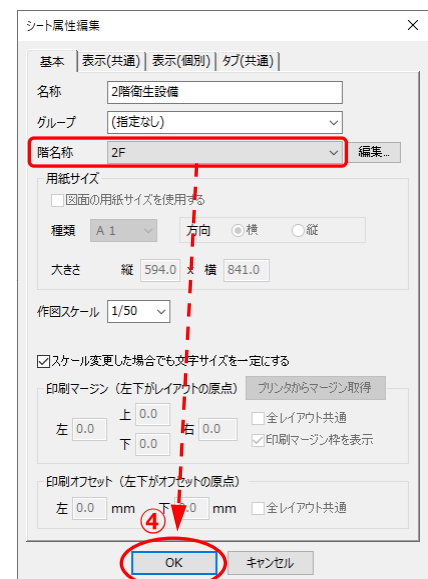


- ③ 作成した「2 階衛生設備」シートを左クリック後、シートを右クリックし、ショートカットメニューから「シート属性編集」を選択します。

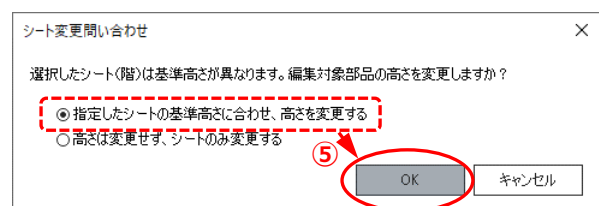


- ④ 「シート属性編集」ダイアログが表示されますので、「階名称」欄の▼をクリックし、プルダウンメニューから設定する階を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

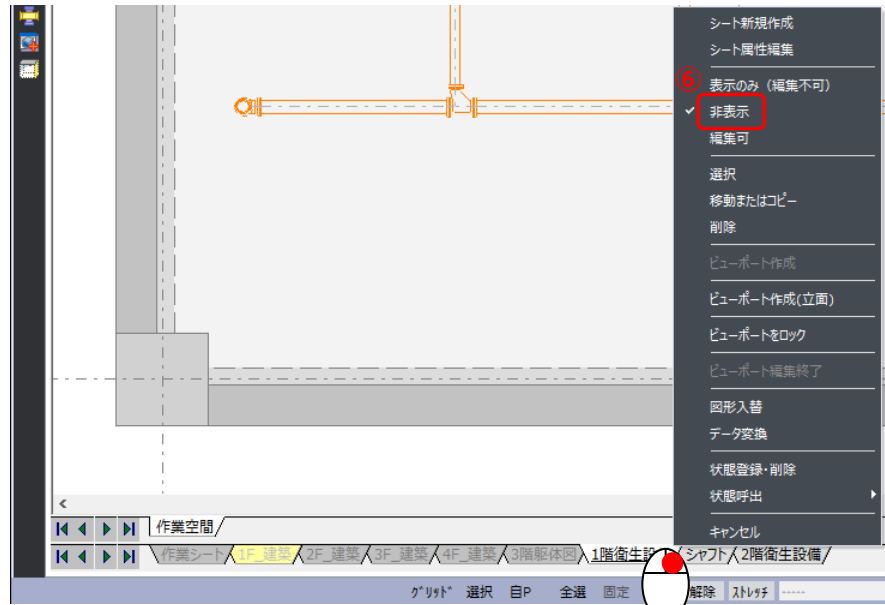
ここで作図するのは2 階の衛生設備なので、「2 F」を選択します。



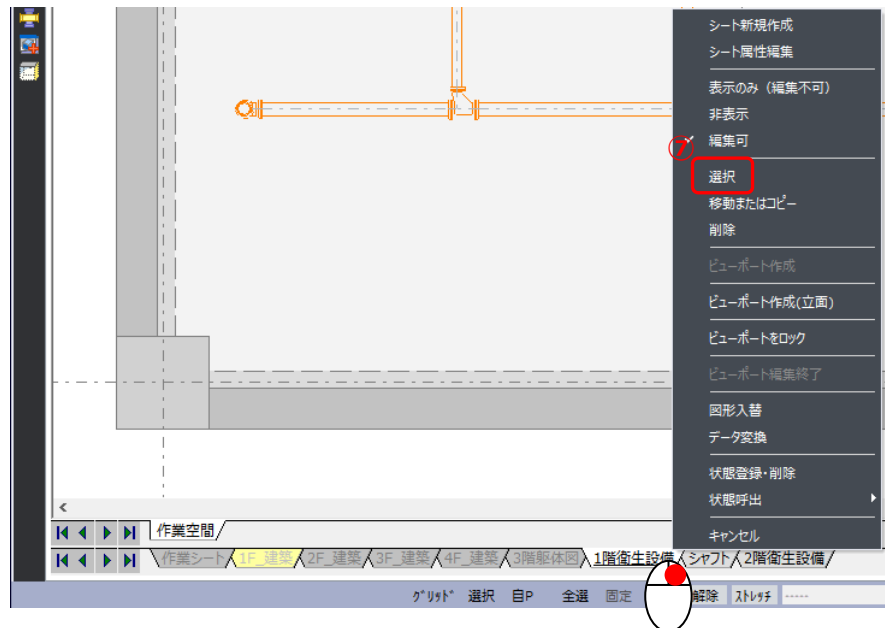
- ⑤ 「シート変更問い合わせ」ダイアログが表示されますので、「指定したシートの基準高さに合わせ、高さを変更する」になっていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



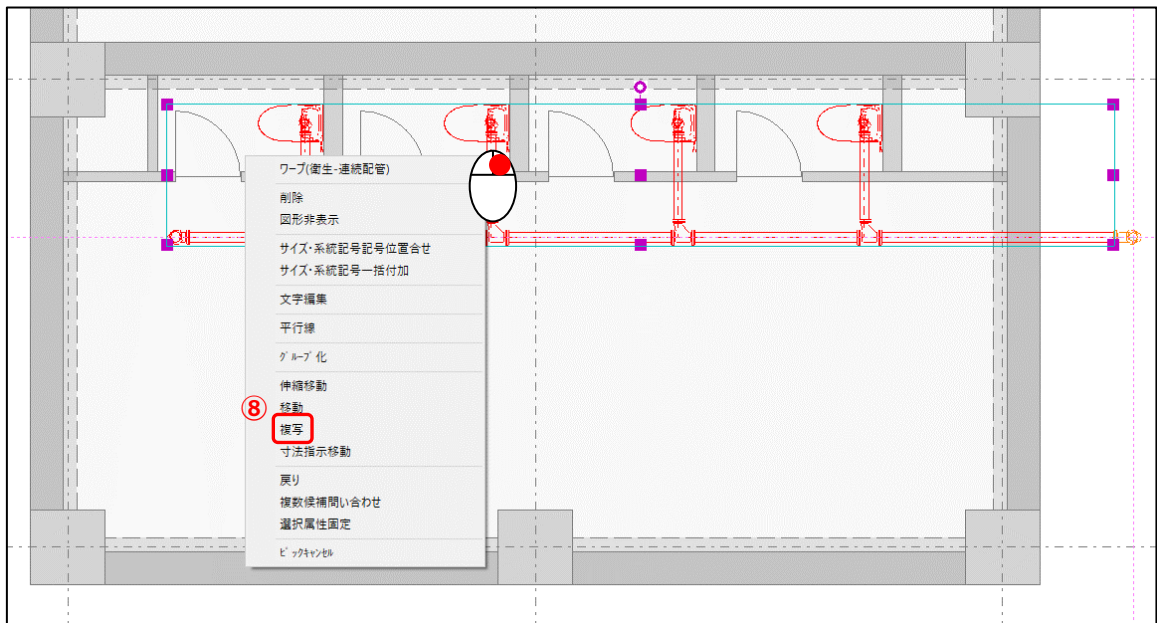
- ⑥ 複写する図形がある「1階衛生設備」シートを左クリック後、シートを右クリックし、ショートカットメニューから「非表示」を選択します。



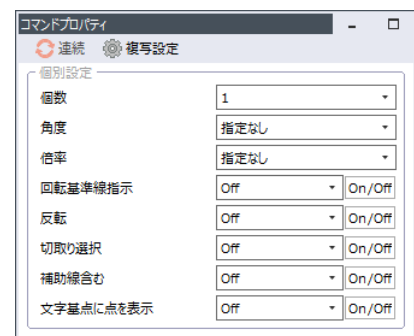
- ⑦ 「1階衛生設備」シートを右クリックし、ショートカットメニューから「選択」を選択します。



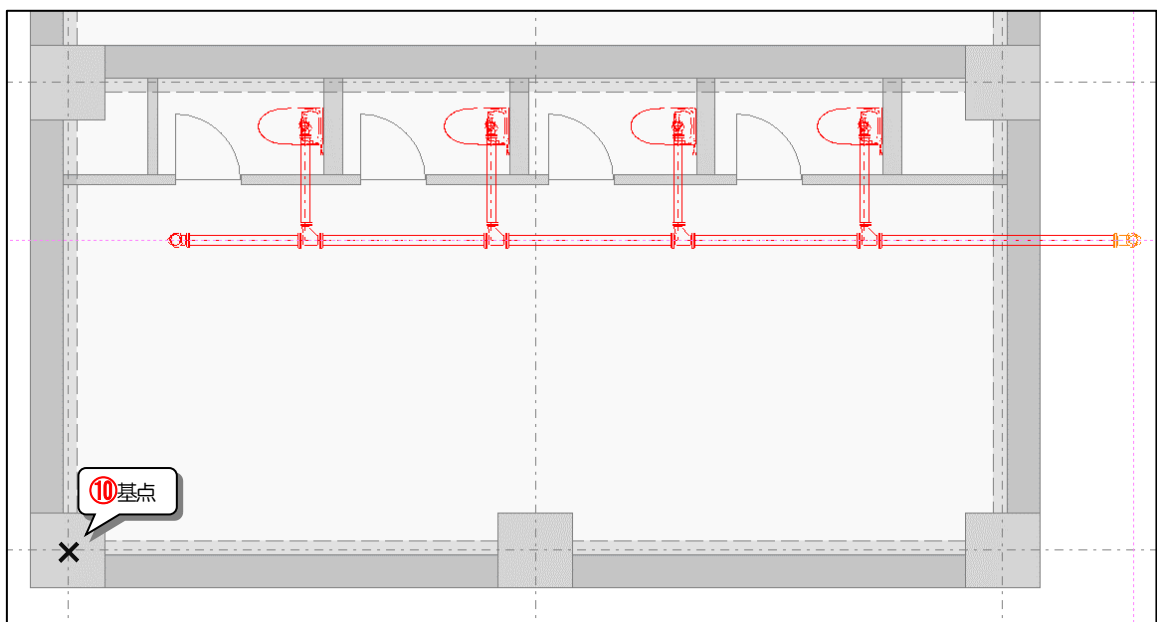
- ⑧ 選択された図形を右クリックし、ショートカットメニューから【複写】を選択します。



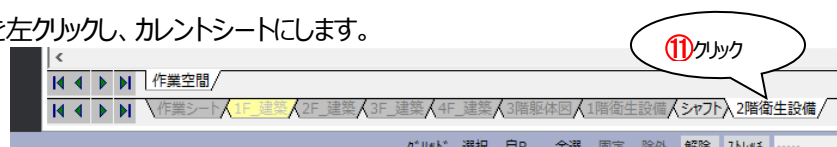
- ⑨ コマンドプロパティで、右記の通り設定します。



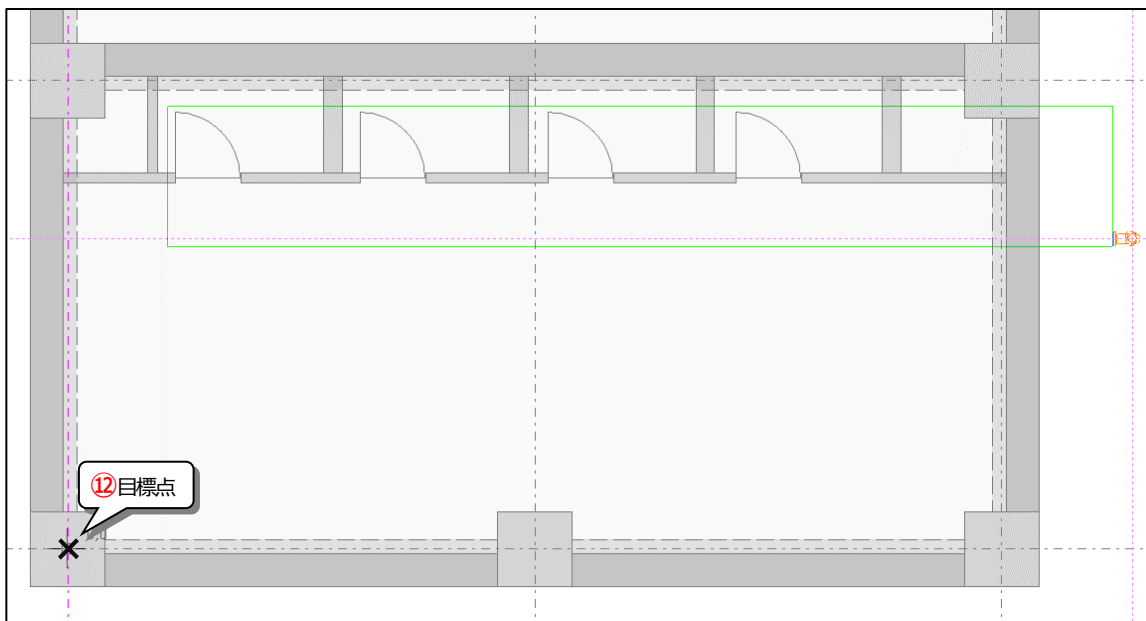
- ⑩ 複写基点をクリックします。



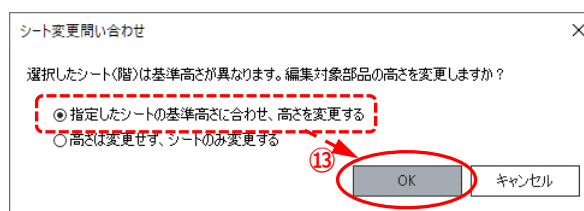
- ⑪ 複写先の「2階衛生設備」シートを左クリックし、カレントシートにします。



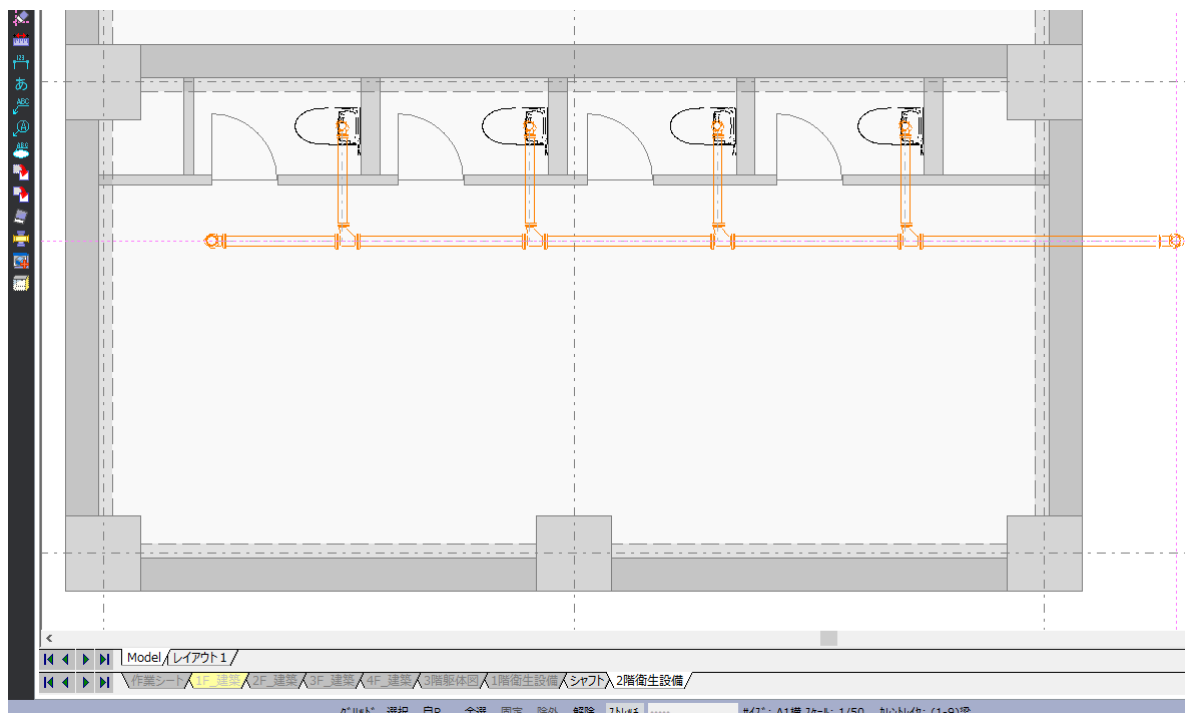
- ⑫ 複写先シート内の**目標点**をクリックします。



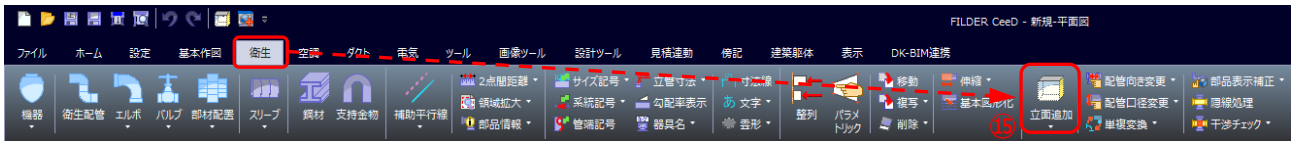
- ⑬ 「シート変更問い合わせ」ダイアログが表示されますので、「指定したシートの基準高さに合わせ、高さを変更する」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



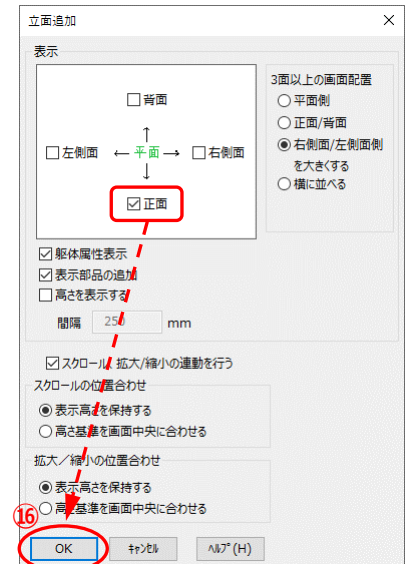
- ⑭ 「1階衛生設備」シート内の図形が「2階衛生設備」シートへ複写されます。



- ⑮ リボンメニューの「衛生」タブから【立面追加】を選択します。
(リボンメニューの「空調」・「ダクト」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります。)

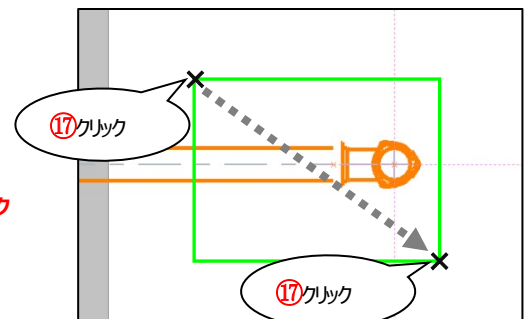


- ⑯ 「立面追加」ダイアログが表示されますので、表示の「正面」、「背面」、「右側面」、「左側面」の中の表示したい面にチェックを入れます。
ここでは、例として「正面」にのみチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。

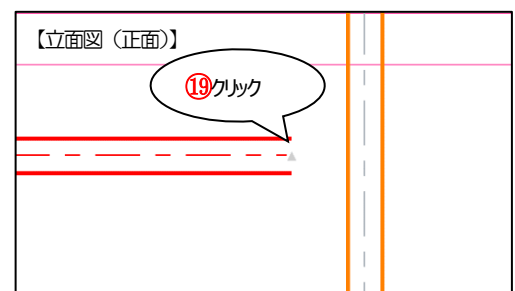


- ⑰ シャフト周りの配管を枠で囲むように選択します。

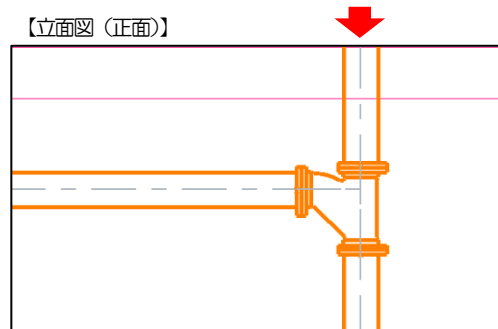
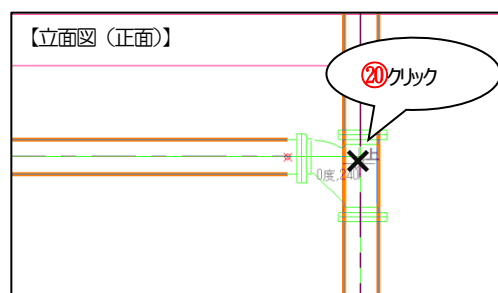
- ⑱ 右クリックで確定します。



- ⑲ 立面画面が表示されますので、立面画面で接続する配管を選択し、配管のコントロールポイント（▲）をクリックします。



- ②⑩ シャフトの中心線上でクリックし接続すると、ティーズが自動発生し接続されます。



- ②⑪ 立面図ファイルタブの「×」をクリックし、立面ウィンドウを閉じます



II-3. 傍記を配置する

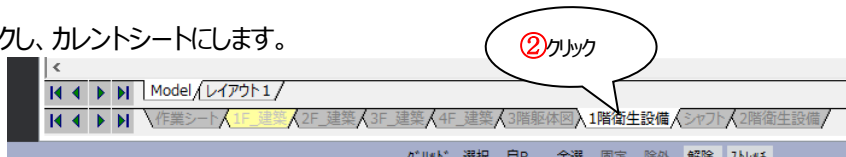
通常では配管を作図すると自動的に傍記が配置されますが、ここでは後で配置する場合の手順をご説明します。

また、サイズ記号で表示される高さは、各シートの基準高さ表示となります。

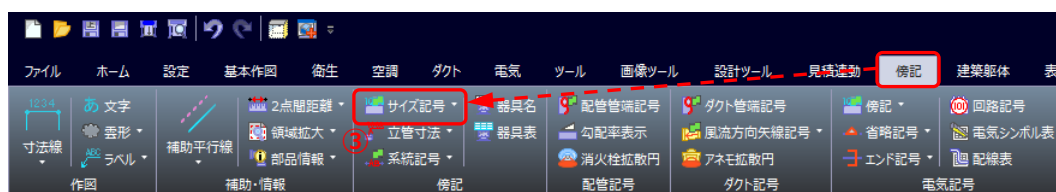
操作説明

- ① Shift キーを押したまま「シャフト」シートと一番右側の「2階衛生設備」シートを選択し、選択したシートを右クリックし、ショートカットメニューから「非表示」を選択します。

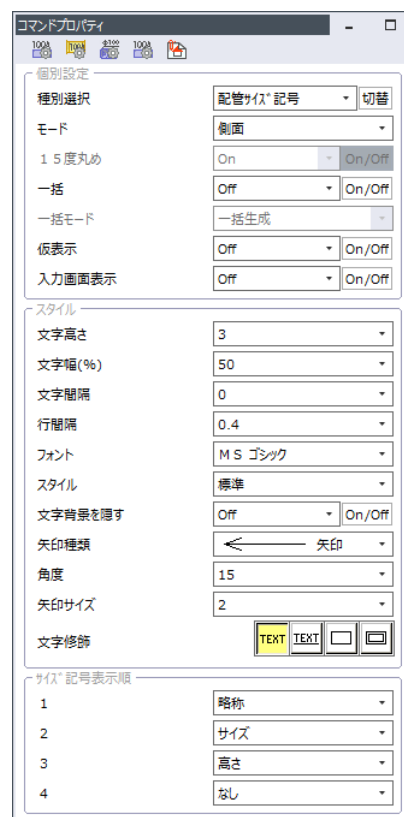
- ② 「1階衛生設備」シートを左クリックし、カレントシートにします。



- ③ リボンメニューの「傍記」タブから「サイズ記号」を選択します。

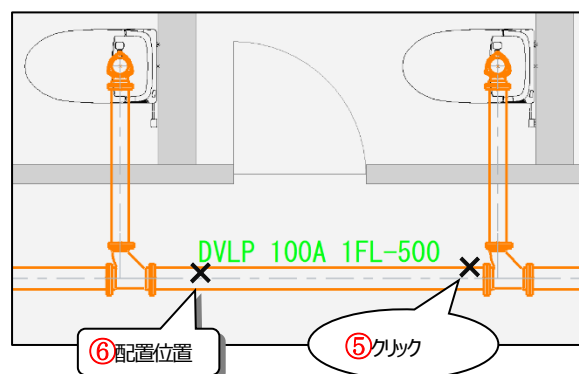


- ④ コマンドプロパティで、右記のように条件を設定します。

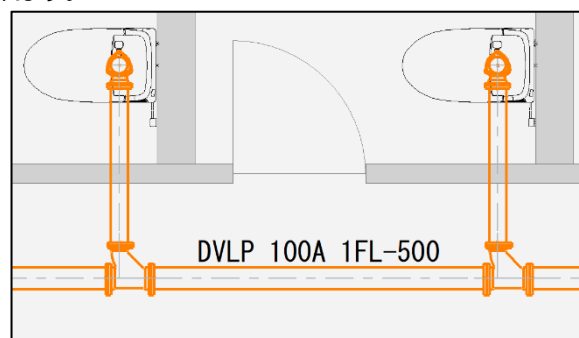


- ⑤ サイズ記号を配置する配管をクリックします。

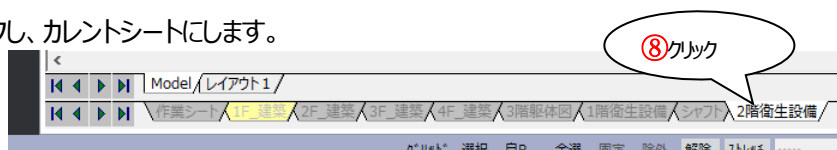
- ⑥ 配置位置をクリックします。



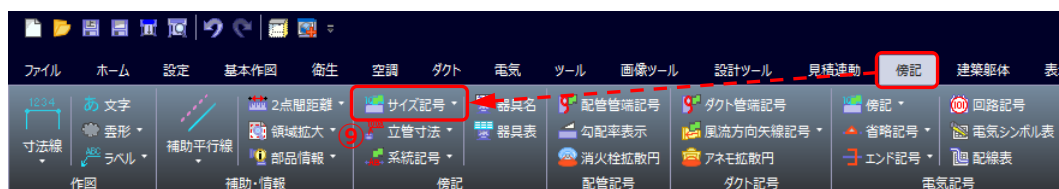
- ⑦ 「1階衛生設備」シートの基準高さで、サイズ記号が表示されます。



- ⑧ 「2階衛生設備」シートを左クリックし、カレントシートにします。

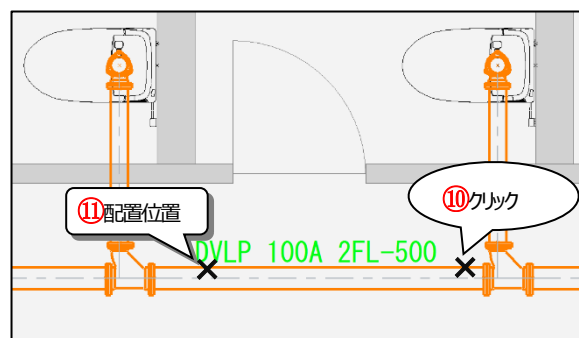


- ⑨ リボンメニューの「傍記」タブから【サイズ記号】を選択します。

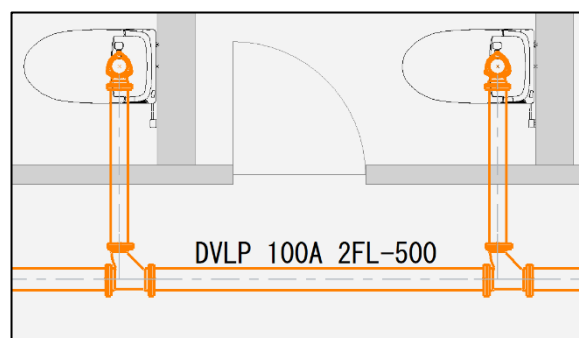


- ⑩ サイズ記号を配置する配管をクリックします。

- ⑪ 配置位置をクリックします。



- ⑫ 「2階衛生設備」シートの基準高さでサイズ記号が表示されます。



ワンポイント



サイズ記号で階情報が表示される設定について

サイズ記号の階情報（「1FL」、「2FL」など）の表示は、
「記号設定」で設定できます。

- (1) リボンメニューの「設定」タブから「記号設定」を選択します。
- (2) 「記号設定」ダイアログが表示されます。
- (3) 「高さ基準」で階情報の表示設定変更ができます。
- (4) 「サイズ記号自動表示」にチェックを入れると配管を作成すると同時にサイズ記号も配置されます。

Ⅲ. 便利な機能

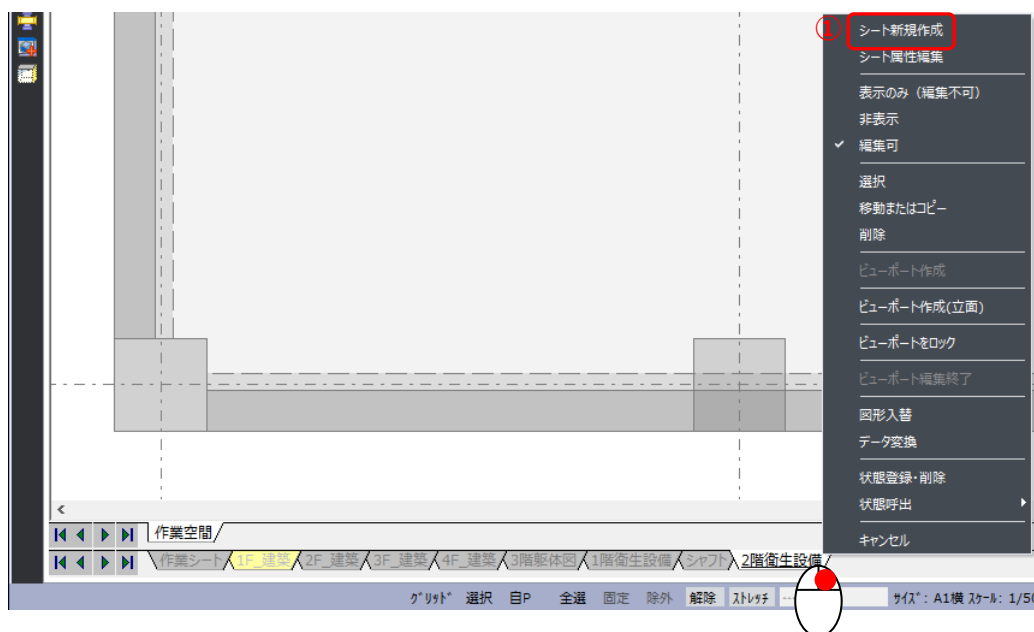
Ⅲ- 1. シート間の図形の移動

作図するシートを間違えたりした場合、別の階へ部品や図形を移動するには、シート移動をします。

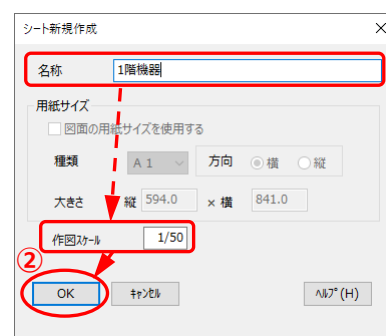
ここでは、新しく作成したシートに「1 階衛生設備」にある機器を移動します。

操作説明

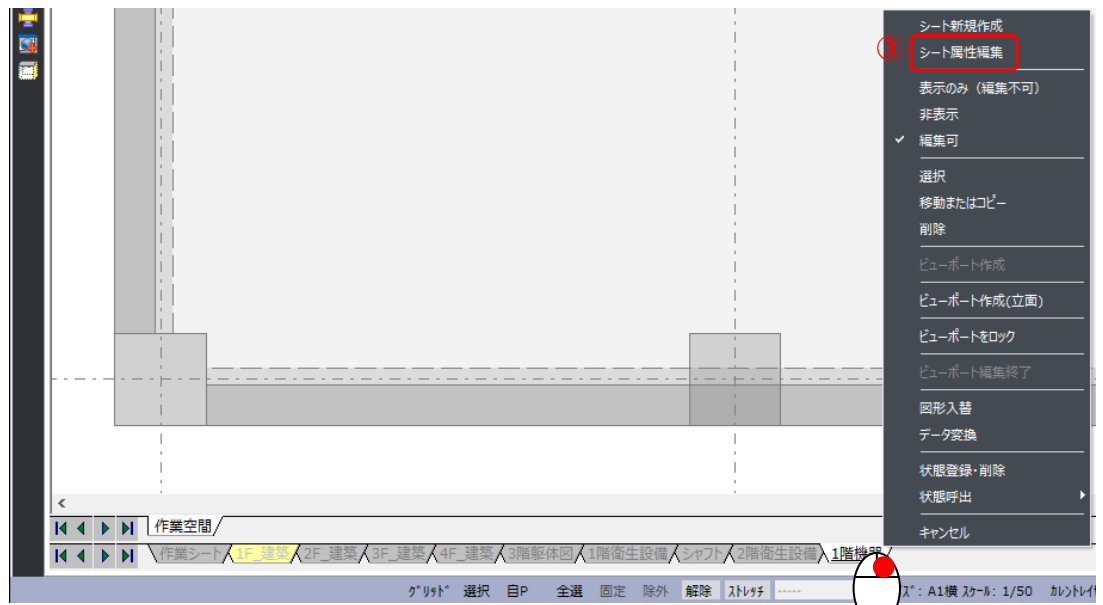
- ① シートを右クリックし、ショートカットメニューから「シート新規作成」を選択します。



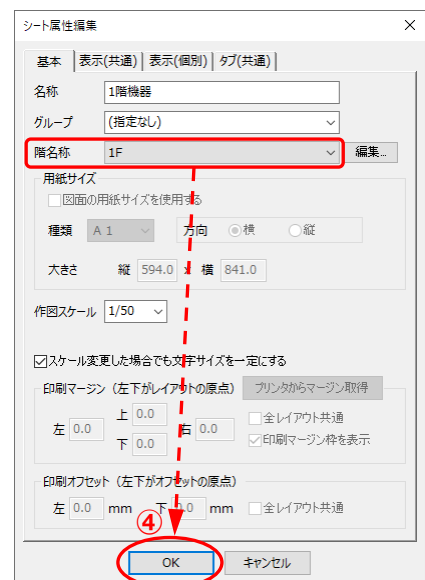
- ② 「シート新規作成」ダイアログが表示されますので、「名称」「作図スケール」の設定をし、「OK」ボタンをクリックします。
ここでは、例としてシート名称を「1 階機器」とし、作図スケールを「1/50」とします。



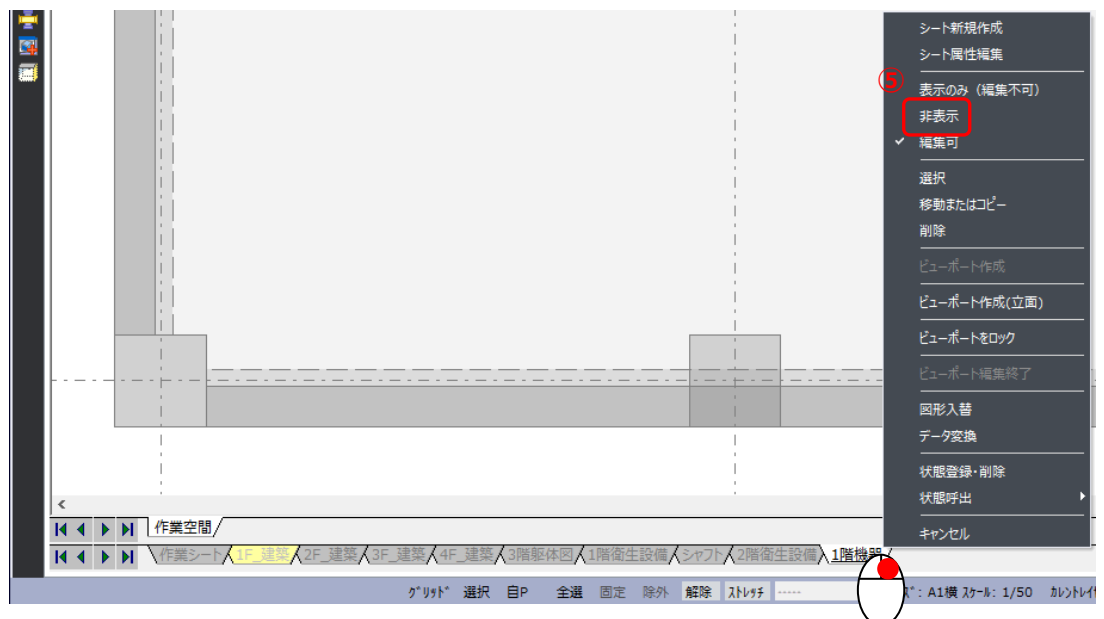
- ③ 「1階機器」シートを左クリック後、シートを右クリックしショートカットメニューから「シート属性編集」を選択します。



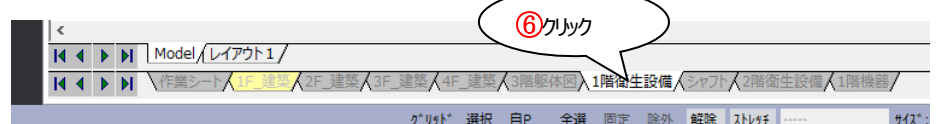
- ④ 「シート属性編集」ダイアログが表示されますので、「階名称」欄の▼をクリックし、プルダウンメニューから設定する階を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
ここで作図するのは1階の機器なので、「1F」を選択します。



- ⑤ 「1階機器」シートを左クリック後、シートを右クリックし、ショートカットメニューから「非表示」を選択します。



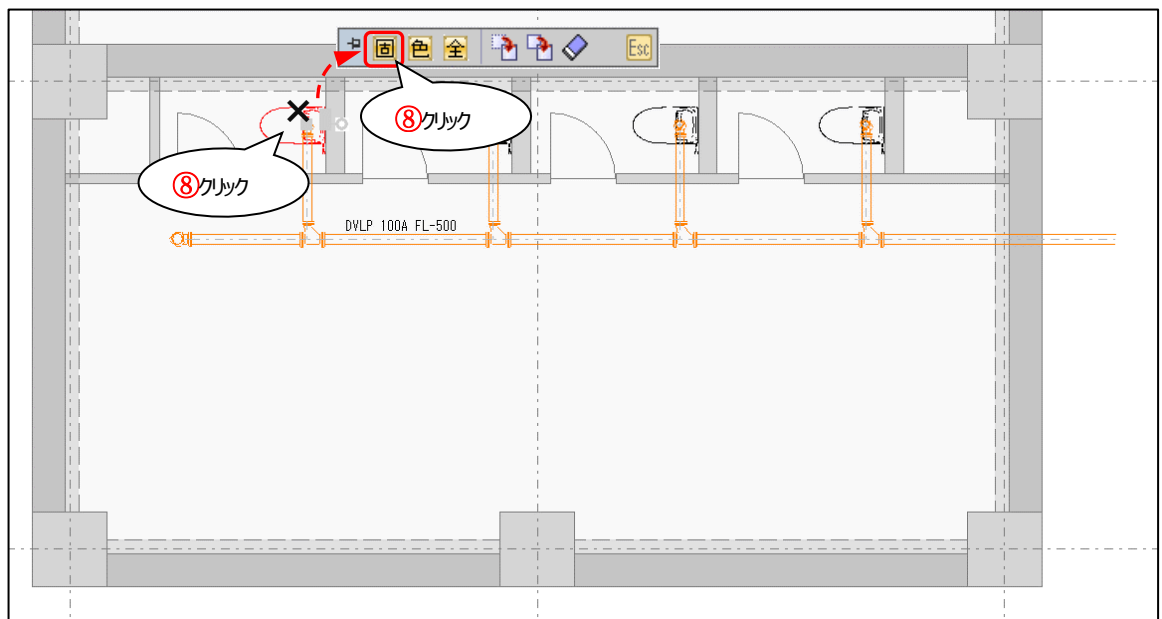
- ⑥ 「1階衛生設備」シートを左クリックし、カレントシートにします。



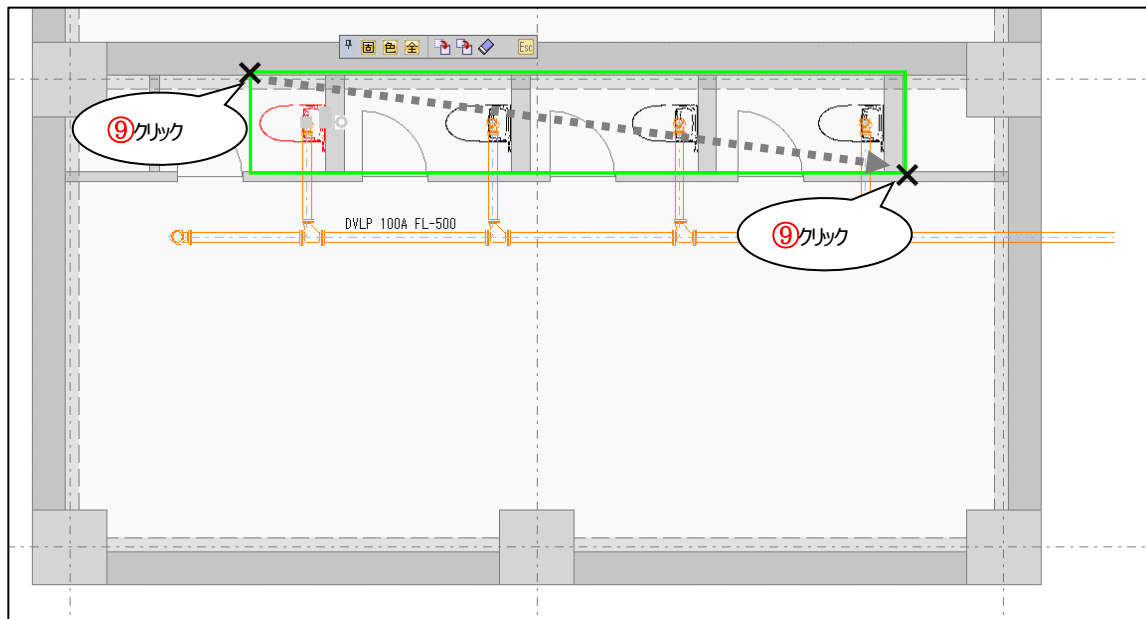
- ⑦ 「部分図・レイアウト制御」バーが表示されていない場合はリボンメニューの「表示」タブの「部分図・レイアウト制御」にチェックを入れます。



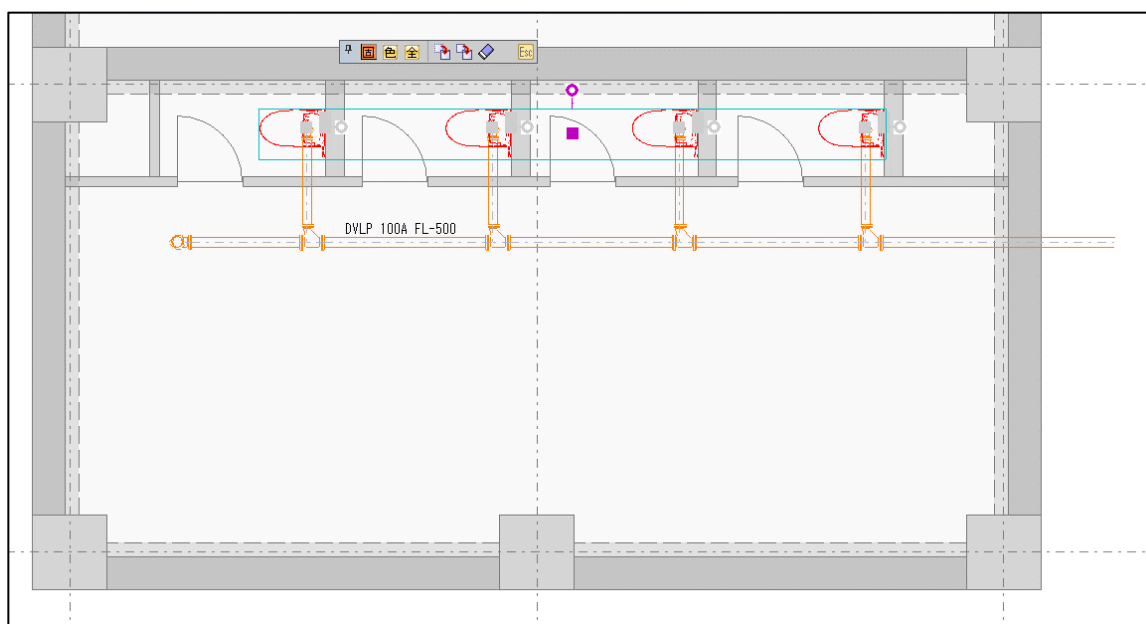
- ⑧ 移動する機器をクリックすると、ミニツールバーが表示されますので、【固】（属性固定）ボタンをクリックします。



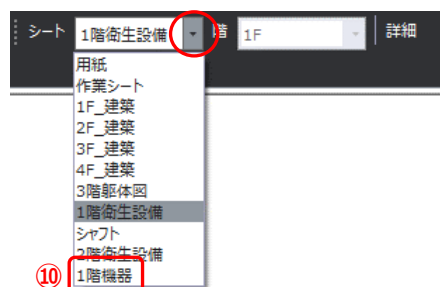
- ⑨ 選択したい範囲を枠で囲むように選択します。



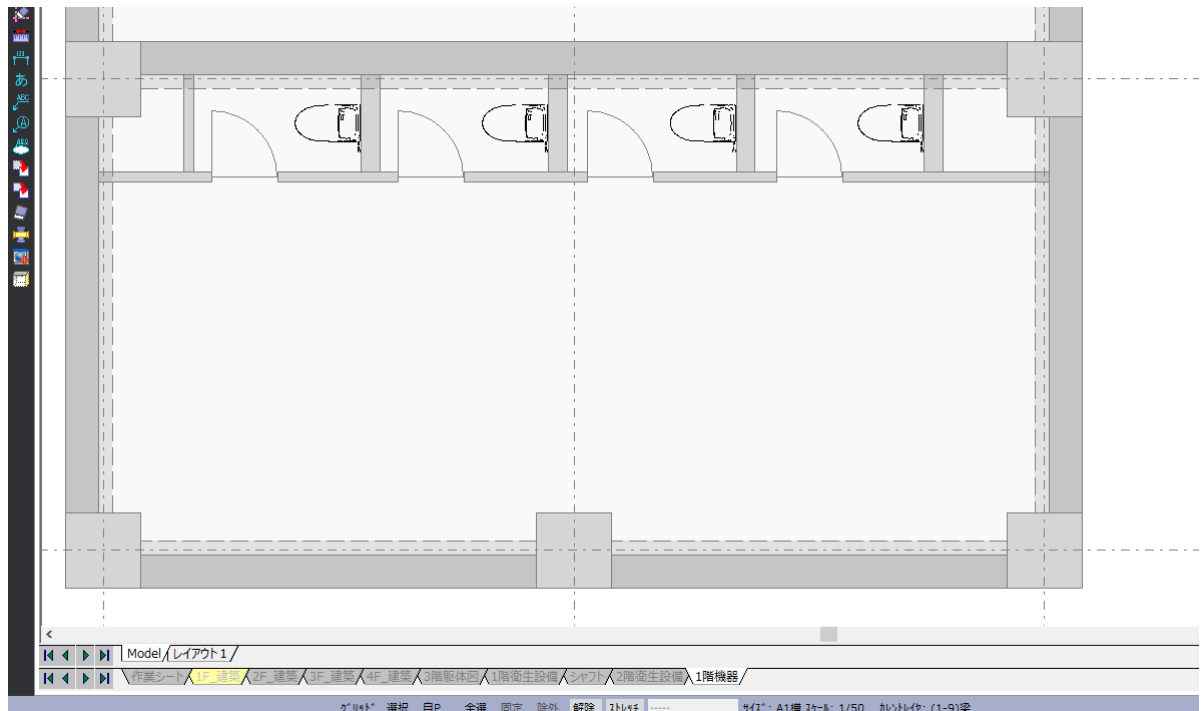
- ⑩ 固定した機器だけが選択されます。



- ⑪ 「部分図・レイアウト制御」ツールバーの▼をクリックし、移動先の「1階機器」シートを選択します。



- ⑫ 「1階機器」シートを左クリックしカレントシートにすると、選択した機器が「1階機器」シート内に移動したことが確認できます。



Ⅲ- 2. 表示状態の登録

複数の階がある図面で各階の作図／編集作業を行うために、各階で必要なシートの表示状態に変更後、その表示状態を登録することができます。

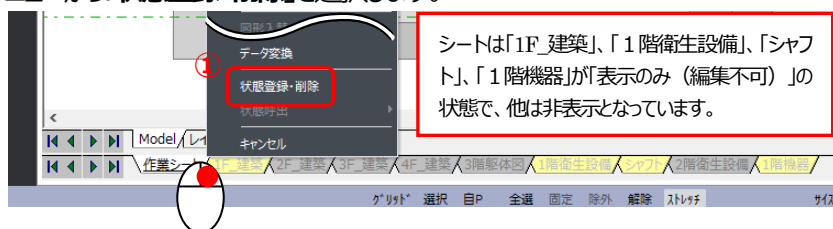
表示状態の登録で、全てのシートの表示状態（「表示のみ（編集不可）」・「非表示」・「編集可」）のパターンを登録、切替ができます。

ここでは、例として「1階見下げ」の表示状態を登録します。

1. 表示状態の登録

操作説明

- ① シートを右クリックし、ショートカットメニューから「状態登録・削除」を選択します。

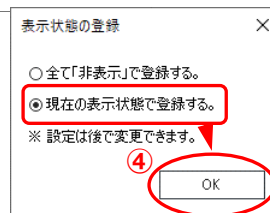


- ② 「シートセット登録・削除」ダイアログが表示されますので、「シートセット登録名」欄に名前を入力します。

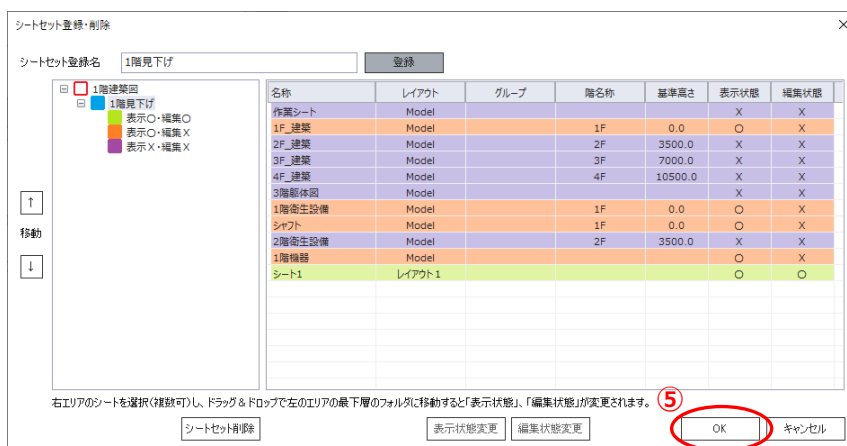


- ③ 「登録」ボタンをクリックします。

- ④ 「表示状態の登録」ダイアログが表示されますので、「現在の表示状態で登録する。」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑤ 「1階見下げ」の表示状態が登録できますので、「OK」ボタンをクリックします。



ワンポイント



ドラッグ&ドロップでの表示状態の登録・変更

表示状態の登録・変更はドラッグ&ドロップでも登録・変更できます。ここでは、例として「2階見下げ」を登録します。

- (1) 「シートセット登録名」欄に名前を入力します。
ここでは、例として「2階見下げ」と入力します。

- (2) 「登録」ボタンをクリックします。

シートセット登録名	2階見下げ	登録
1階建築図	Model	1F
1階見下げ	Model	2F
2階建築図	Model	3F
2階見下げ	Model	4F
3階建築図	Model	1F
3階見下げ	Model	2F
4階建築図	Model	1F
4階見下げ	Model	2F
5階建築図	Model	1F
5階見下げ	Model	2F
6階建築図	Model	1F
6階見下げ	Model	2F
7階建築図	Model	1F
7階見下げ	Model	2F
8階建築図	Model	1F
8階見下げ	Model	2F
9階建築図	Model	1F
9階見下げ	Model	2F
10階建築図	Model	1F
10階見下げ	Model	2F
11階建築図	Model	1F
11階見下げ	Model	2F
12階建築図	Model	1F
12階見下げ	Model	2F
13階建築図	Model	1F
13階見下げ	Model	2F
14階建築図	Model	1F
14階見下げ	Model	2F
15階建築図	Model	1F
15階見下げ	Model	2F
16階建築図	Model	1F
16階見下げ	Model	2F
17階建築図	Model	1F
17階見下げ	Model	2F
18階建築図	Model	1F
18階見下げ	Model	2F
19階建築図	Model	1F
19階見下げ	Model	2F
20階建築図	Model	1F
20階見下げ	Model	2F
21階建築図	Model	1F
21階見下げ	Model	2F
22階建築図	Model	1F
22階見下げ	Model	2F
23階建築図	Model	1F
23階見下げ	Model	2F
24階建築図	Model	1F
24階見下げ	Model	2F
25階建築図	Model	1F
25階見下げ	Model	2F
26階建築図	Model	1F
26階見下げ	Model	2F
27階建築図	Model	1F
27階見下げ	Model	2F
28階建築図	Model	1F
28階見下げ	Model	2F
29階建築図	Model	1F
29階見下げ	Model	2F
30階建築図	Model	1F
30階見下げ	Model	2F
31階建築図	Model	1F
31階見下げ	Model	2F
32階建築図	Model	1F
32階見下げ	Model	2F
33階建築図	Model	1F
33階見下げ	Model	2F
34階建築図	Model	1F
34階見下げ	Model	2F
35階建築図	Model	1F
35階見下げ	Model	2F
36階建築図	Model	1F
36階見下げ	Model	2F
37階建築図	Model	1F
37階見下げ	Model	2F
38階建築図	Model	1F
38階見下げ	Model	2F
39階建築図	Model	1F
39階見下げ	Model	2F
40階建築図	Model	1F
40階見下げ	Model	2F
41階建築図	Model	1F
41階見下げ	Model	2F
42階建築図	Model	1F
42階見下げ	Model	2F
43階建築図	Model	1F
43階見下げ	Model	2F
44階建築図	Model	1F
44階見下げ	Model	2F
45階建築図	Model	1F
45階見下げ	Model	2F
46階建築図	Model	1F
46階見下げ	Model	2F
47階建築図	Model	1F
47階見下げ	Model	2F
48階建築図	Model	1F
48階見下げ	Model	2F
49階建築図	Model	1F
49階見下げ	Model	2F
50階建築図	Model	1F
50階見下げ	Model	2F
51階建築図	Model	1F
51階見下げ	Model	2F
52階建築図	Model	1F
52階見下げ	Model	2F
53階建築図	Model	1F
53階見下げ	Model	2F
54階建築図	Model	1F
54階見下げ	Model	2F
55階建築図	Model	1F
55階見下げ	Model	2F
56階建築図	Model	1F
56階見下げ	Model	2F
57階建築図	Model	1F
57階見下げ	Model	2F
58階建築図	Model	1F
58階見下げ	Model	2F
59階建築図	Model	1F
59階見下げ	Model	2F
60階建築図	Model	1F
60階見下げ	Model	2F
61階建築図	Model	1F
61階見下げ	Model	2F
62階建築図	Model	1F
62階見下げ	Model	2F
63階建築図	Model	1F
63階見下げ	Model	2F
64階建築図	Model	1F
64階見下げ	Model	2F
65階建築図	Model	1F
65階見下げ	Model	2F
66階建築図	Model	1F
66階見下げ	Model	2F
67階建築図	Model	1F
67階見下げ	Model	2F
68階建築図	Model	1F
68階見下げ	Model	2F
69階建築図	Model	1F
69階見下げ	Model	2F
70階建築図	Model	1F
70階見下げ	Model	2F
71階建築図	Model	1F
71階見下げ	Model	2F
72階建築図	Model	1F
72階見下げ	Model	2F
73階建築図	Model	1F
73階見下げ	Model	2F
74階建築図	Model	1F
74階見下げ	Model	2F
75階建築図	Model	1F
75階見下げ	Model	2F
76階建築図	Model	1F
76階見下げ	Model	2F
77階建築図	Model	1F
77階見下げ	Model	2F
78階建築図	Model	1F
78階見下げ	Model	2F
79階建築図	Model	1F
79階見下げ	Model	2F
80階建築図	Model	1F
80階見下げ	Model	2F
81階建築図	Model	1F
81階見下げ	Model	2F
82階建築図	Model	1F
82階見下げ	Model	2F
83階建築図	Model	1F
83階見下げ	Model	2F
84階建築図	Model	1F
84階見下げ	Model	2F
85階建築図	Model	1F
85階見下げ	Model	2F
86階建築図	Model	1F
86階見下げ	Model	2F
87階建築図	Model	1F
87階見下げ	Model	2F
88階建築図	Model	1F
88階見下げ	Model	2F
89階建築図	Model	1F
89階見下げ	Model	2F
90階建築図	Model	1F
90階見下げ	Model	2F
91階建築図	Model	1F
91階見下げ	Model	2F
92階建築図	Model	1F
92階見下げ	Model	2F
93階建築図	Model	1F
93階見下げ	Model	2F
94階建築図	Model	1F
94階見下げ	Model	2F
95階建築図	Model	1F
95階見下げ	Model	2F
96階建築図	Model	1F
96階見下げ	Model	2F
97階建築図	Model	1F
97階見下げ	Model	2F
98階建築図	Model	1F
98階見下げ	Model	2F
99階建築図	Model	1F
99階見下げ	Model	2F
100階建築図	Model	1F
100階見下げ	Model	2F

- (3) 表示状態の登録はここでは「全て「非表示」で登録する。」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

- (4) 表示状態を変更するシートを選択し、「表示○、編集×」へドラッグ&ドロップします。

- (5) 「2階見下げ」の表示状態が登録できますので、「OK」ボタンをクリックします。

2. 登録した表示状態の呼出

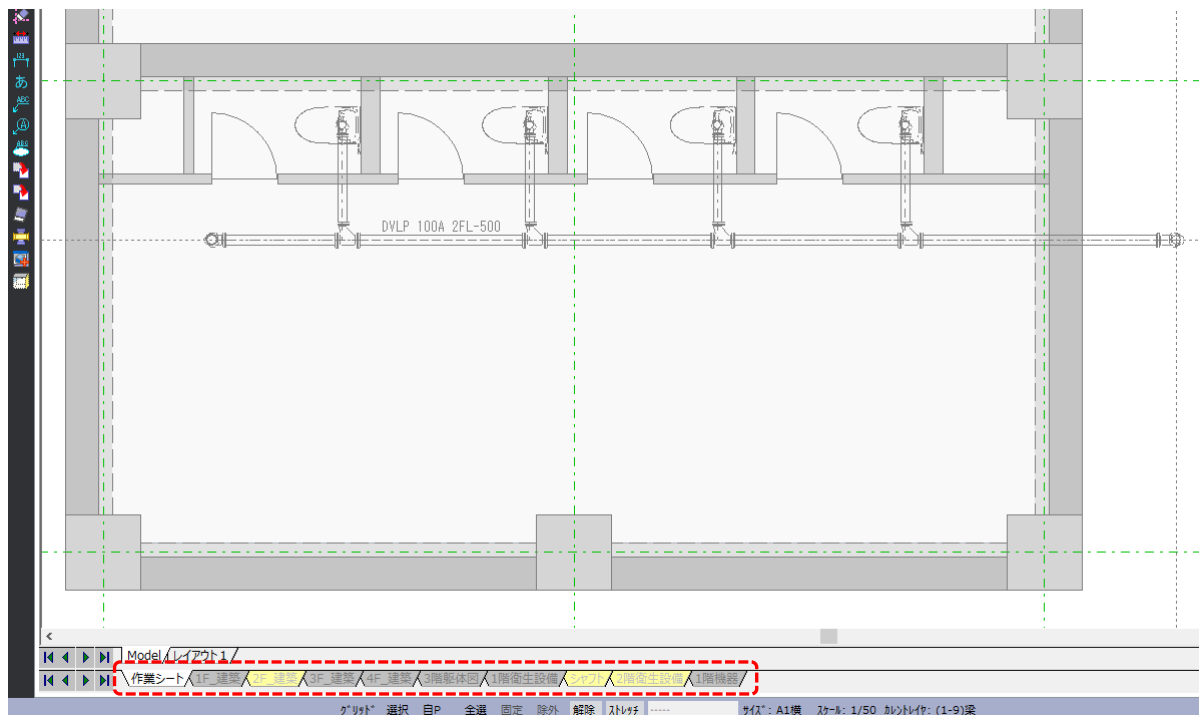
ここでは、前ページのワンポイントの「2階見下げ」を作成してあるものとします。

操作説明

- ① 2階見下げの表示にする場合は、シートを右クリックし、ショートカットメニューの「状態呼出」から、登録されている「2階見下げ」を選択します。



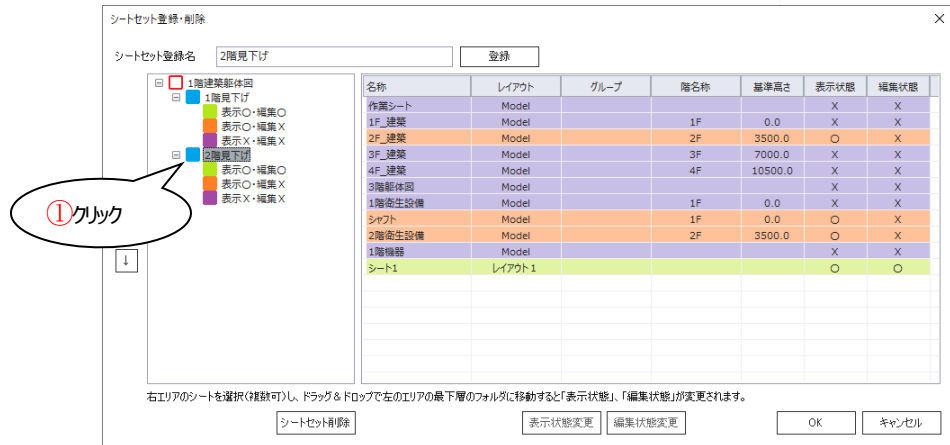
- ② 呼出したシートセットの表示状態となります。



3. 登録した表示状態の変更

操作説明

- ① 「シートセット登録・削除」ダイアログの左側ツリーから、表示状態を変更するシートが入ったフォルダをクリックします。
ここでは、例として「2階見下げ」を指定します。

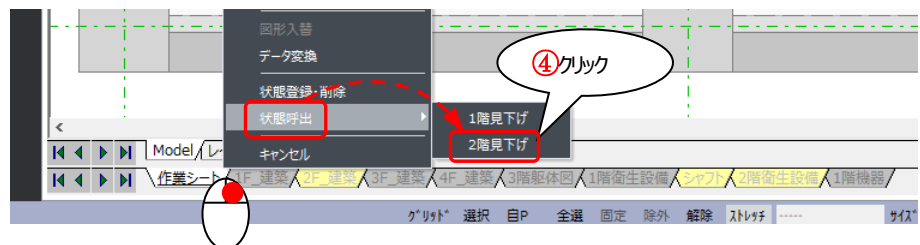


- ② 「表示状態」、「編集状態」の○×をクリックし、表示状態を切替えます。
ここでは、例として「シャフト」の表示状態の○をクリックし、×にします。

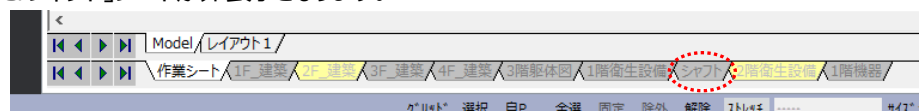


- ③ 「OK」ボタンをクリックします。

- ④ シートを右クリックし、ショートカットメニューの「状態呼出」から「2階見下げ」を選択します。



- ⑤ 表示可（編集不可）だった「シャフト」シートが非表示となります。



Ⅲ-3. シートのグループ化

FILDER CeeD では、複数シートをグループとして登録することができます。

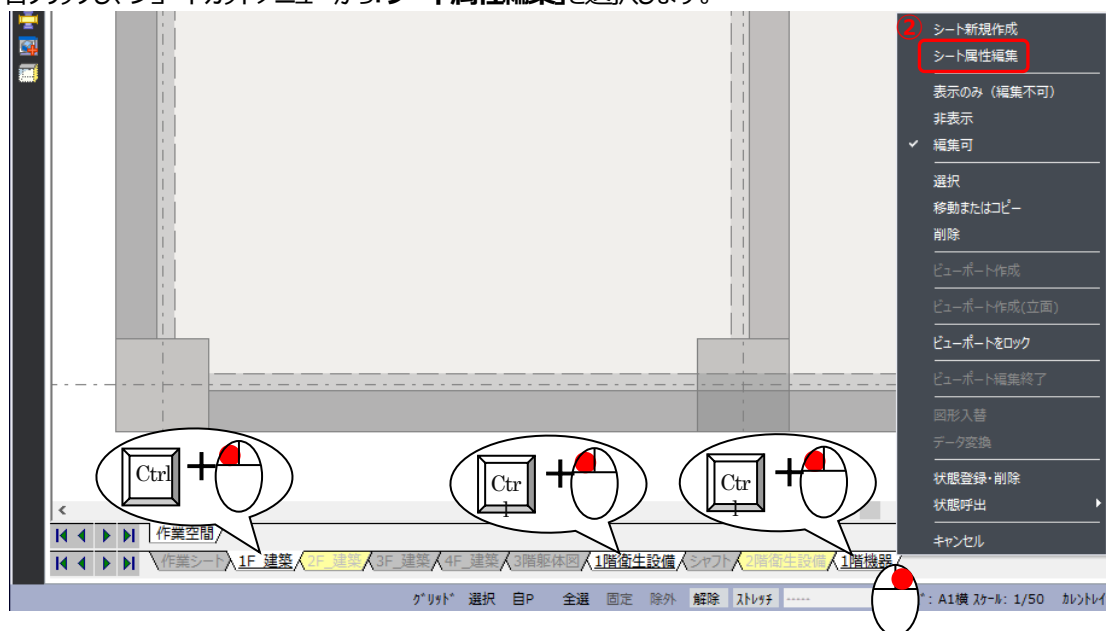
グループ登録されたシートは、ひとつにまとめて表示されます。共通で設定・変更・編集が可能なものは、そのグループ内の全てのシートに反映されます。

1. シートをグループ化する

操作説明

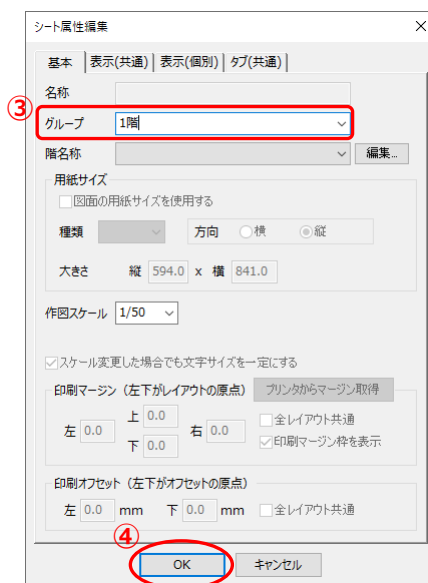
- ① 「Shift」キー+左クリック（範囲選択）、もしくは「Ctrl」キー+左クリック（シートをまたいで選択）でグループ登録したいシートを選択します。
ここでは、例として「Ctrl」キーを押しながら「1 F_建築」、「1 階衛生設備」、「1 階機器」シートを選択します。

- ② シートを右クリックし、ショートカットメニューから「シート属性編集」を選択します。



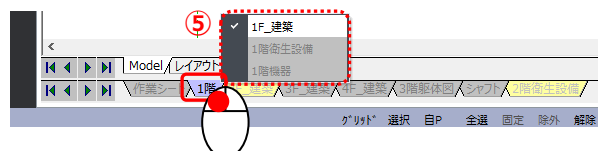
- ③ 「シート属性編集」ダイアログが表示されますので、「グループ」欄にグループ名を入力します。

※ すでにグループがある場合、グループ欄の右側の【▼】（プルダウンボタン）をクリックし、表示されるグループ一覧から選択することで、そのグループに所属させることができます。



- ④ 「OK」ボタンをクリックします。

- ⑤ グループシートが作成されます。
グループシートを左クリックすると、そのグループ内のシートが表示され、カレントシートを選択することができます。



ワンポイント

① シート・部分図制御からグループ登録するには？

- (1) 部分図・レイアウト制御」ツールバーの「詳細」ボタンをクリックします。

「部分図・レイアウト制御」ツールバーが表示されていない場合、リボンメニューの「表示」タブの「部分図・レイアウト制御」にチェックを入れ表示させます。



- (2) 「シート・部分図制御（***）（****は、カレントの作業空間またはレイアウト名）ダイアログが表示されますので、グループ登録したいシートを「Shift」キーもしくは「Ctrl」キーを押しながら選択します。

※ グループ化は「作業空間」のシートなら「作業空間」のシートのみ、「レイアウト」のシートなら同一レイアウトのシートのみを選択します。



- (3) 「属性変更」ボタンをクリックします。

- (4) 「シート属性編集」ダイアログが表示されます。

- (5) 「グループ」欄に名前を入力します。



- (6) 「OK」ボタンをクリックします。

- (7) 選択したシートがグループ登録されます。

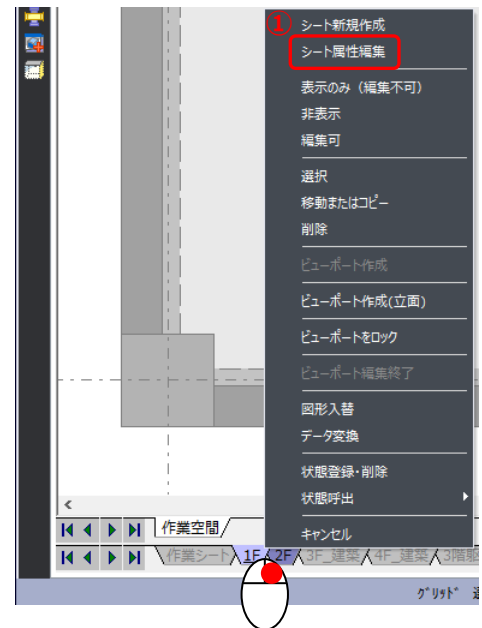


- (8) 「OK」ボタンをクリックします。

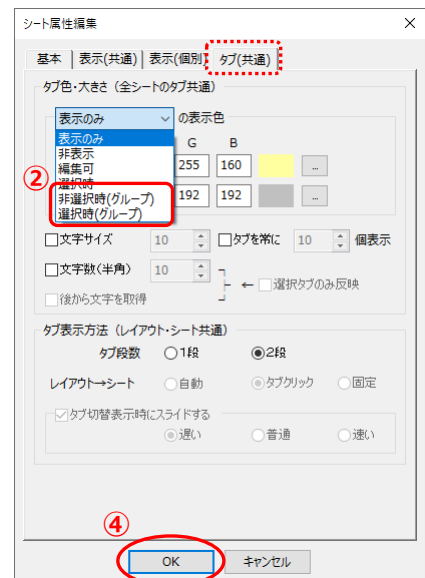
2. グループシートの設定変更

操作説明

- ① グループシートを右クリックし、ショートカットメニューから「シート属性編集」を選択します。



- ② 「シート属性編集」ダイアログの「タブ（共通）」タブの中の「タブ色・大きさ（全シートのタブ共通）」で、プルダウンから「非選択時（グループ）」もしくは「選択時（グループ）」を選択します。



- ③ 「背景色」・「文字色」・「文字サイズ」などの設定変更をします。

- ④ 「OK」ボタンをクリックします。

- ⑤ グループシートタブの背景色、文字色、文字サイズなどの表示が変更されます。